

第25回 歯科衛生士 国家試験問題 解答

Table with columns for question number, answer, and subject, divided into '午前問題' (Morning Questions) and '午後問題' (Afternoon Questions). It lists 110 questions and their corresponding answers and subjects.

※出題基準 1 人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能 2 歯・口腔の構造と機能 3 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 4 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 5 歯科衛生士概論 6 臨床歯科医学 7 歯科予防処置論 8 歯科保健指導論 9 歯科診療補助論

解説(午前問題)

(問題 1) 外側面の一部を除去した顎骨の写真(別冊午前 No.1)を別に示す。矢印で示すのはどれか。

- a 歯槽孔
b 卵円孔
c 切歯管
d 下顎管

別冊 午前 No.1

選択肢考察

答え d



- × a 歯槽孔は上顎骨に存在する。
× b 卵円孔は蝶形骨に存在する。
× c 切歯管は口蓋骨に存在する。
○ d 矢印は下顎骨に存在する下顎管である。

(問題 2) 骨改造(リモデリング)で、脱灰して骨基質を吸収するのはどれか。

- a 骨細胞
b 骨芽細胞
c 破骨細胞
d マクロファージ

選択肢考察

答え c

- × a 骨細胞は骨芽細胞が分泌した骨基質中の骨小腔に埋まっている細胞である。骨組織の基本細胞である。
× b 骨芽細胞は骨基質をつくる細胞である。
○ c 破骨細胞は骨基質を吸収する細胞である。
× d マクロファージは結合組織中にみられる細胞である。

(問題 3) 口腔周囲の写真(別冊午前 No.2)を別に示す。矢印で示す部位に存在する筋の運動を司るのはどれか。

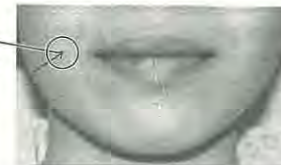
- a 三叉神経
b 顔面神経
c 舌咽神経
d 迷走神経

別冊 午前 No.2

選択肢考察

答え b

モダイオラス(口輪筋や頬筋などが交差する部位)

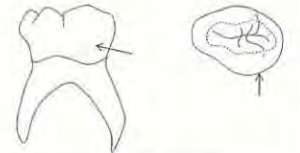


- × a 三叉神経は咀嚼筋(咬筋、側頭筋、内側翼突筋、外側翼突筋)の運動神経である。
○ b 顔面神経は矢印で示す部位に存在する表情筋(口輪筋や

頬筋など)の運動神経である。
× c 舌咽神経は茎突咽頭筋や咽頭上部の筋の運動神経である。
× d 迷走神経は喉頭の筋と咽頭下部の筋の運動神経である。

(問題 4) 乳歯の頬側面と咬合面を図に示す。矢印で示す部位の名称はどれか。

- a 介在結節
b 基底結節
c 臼歯結節
d 中心結節



選択肢考察

答え c

- × a 介在結節は上顎第一小臼歯の近心辺縁隆線にみられる結節である。
× b 基底結節は前歯の舌面歯頸隆線の発育が明瞭な結節である。
○ c 臼歯結節は上下顎乳臼歯頰面の近心歯頸部付近にみられる結節である。
× d 中心結節は下顎小臼歯の咬合面にみられる結節である。

(問題 5) 体重 65kg の成人男性の血液量はどれか。

- a 1L
b 2L
c 5L
d 10L

選択肢考察

答え c

- × a、× b、○ c、× d
人間の血液量は体重の13分の1とされる。したがって、体重65kgの成人男性の血液量は、65 ÷ 13 = 5(L)となる。

(問題 6) に入る語句の組合せて正しいのはどれか。体温は ① が ② よりも高い。

- ①
②
a 食前 食後
b 小児 成人
c 男性 女性
d 朝方 夕方

選択肢考察

答え b

- × a 体温は食後が食前よりも高い。
○ b 体温は小児が成人よりも高い。
× c 体温はほとんど男女差がない。
× d 体温は夕方朝方よりも高い。午後3~6時が最も高く、午前5~6時が最も低い。

(問題 7) ペリクルで正しいのはどれか。

- a 上皮細胞からなる。
b 厚さは10~20μmである。
c 細菌や有機物を吸着しやすい。
d 酸に対する抵抗性を低下させる。

選択肢考察

答え c

- × a 唾液由来の糖タンパクで細胞を含まない有機性薄膜である。

- × b 均一構造で、厚さは1~15 μmである。
- c 細菌や有機物質を吸着しやすいので、歯垢形成の場となる。
- × d 酸による脱灰から歯面を守るはたらきがある。

(問題 8) ヒドロキシアパタイトの Ca と P のモル比はどれか。

- a 2:1
- b 4:3
- c 7:5
- d 10:6

選択肢考察 答え d

× a、× b、× c、○ d
ヒドロキシアパタイトの化学式は、Ca₁₀(PO₄)₆(OH)₂である。したがって、Ca と P のモル比は 10:6 である。

(問題 9) 歯の異常と好発部位の組合せで正しいのはどれか。

- a 矮小歯 _____ 上顎中切歯
- b 巨大歯 _____ 下顎小臼歯
- c 欠如歯 _____ 上顎側切歯
- d 癒合歯〈融合歯〉 _____ 下顎大臼歯

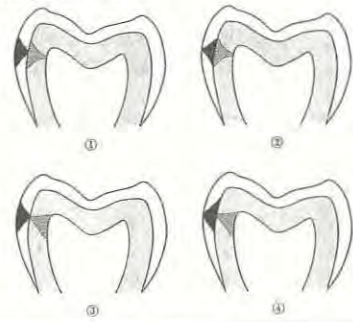
選択肢考察 答え c

- × a 矮小歯は上顎側切歯にみられることが多い。
- × b 巨大歯は上顎中切歯、犬歯、第一大臼歯にみられることが多い。
- c 欠如歯は智歯、上顎側切歯、第二小臼歯にみられることが多い。
- × d 癒合歯〈融合歯〉は下顎切歯にみられることが多い。

(問題 10) 平滑面う蝕におけるエナメル質う蝕を黒塗りで、象牙質う蝕を斜線で示す。

正しいう蝕円錐の形態はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察 答え a

○ a、× b、× c、× d
エナメル質う蝕のう蝕円錐は、平滑面では円錐の底面を表面に向けて進行する。象牙質う蝕のう蝕円錐は円錐の底面をエナメル象牙質境に向けて進行する。したがって、平滑面う蝕におけるう蝕円錐の形態は①が正しい。

(問題 11) 球菌はどれか。

- a *Streptococcus mutans*
- b *Fusobacterium nucleatum*
- c *Porphyromonas gingivalis*
- d *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*

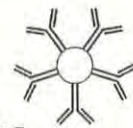
選択肢考察 答え a

○ a *Streptococcus mutans* はグラム陽性通性嫌気性球菌である。

- × b *Fusobacterium nucleatum* はグラム陰性偏性嫌気性桿菌である。
- × c *Porphyromonas gingivalis* はグラム陰性偏性嫌気性桿菌である。
- × d *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* はグラム陰性通性嫌気性桿菌である。

(問題 12) 免疫グロブリンの図を示す。この免疫グロブリンの特徴はどれか。

- a 胎盤通過能がある。
- b 抗原感作後に最も早く出現する。
- c 免疫グロブリンの中で血清中に最も多い。
- d アナフィラキシー型アレルギーの原因となる。



選択肢考察 答え b

- × a 胎盤通過能があるのは IgG である。
- b 抗原感作後に最も早く出現するのは IgM である。IgM は図に示すように 5 量体である。
- × c 免疫グロブリンの中で血清中に最も多いのは IgG である。
- × d アナフィラキシー型アレルギーの原因となるのは IgE である。

(問題 13) プリオン本体はどれか。

- a DNA
- b RNA
- c 糖質
- d タンパク質

選択肢考察 答え d

× a、× b、× c、○ d
プリオンとはタンパク質だけからなる病原物質で、タンパク質感染性粒子 (proteinaceous infectious particle) を縮めた造語である。プリオンには DNA や RNA などの核酸はない。ウシでみられる BSE (牛海綿状脳症) やヒトでみられるクローンツェルト・ヤコブ病は異常プリオンが原因と考えられている。

(問題 14) 全身性止血薬はどれか。

- a ヘパリン
- b トロンピン
- c アスכולピン酸
- d ワルファリンカリウム

選択肢考察 答え c

- × a ヘパリンは抗トロンピン作用を示す抗凝固薬である。
- × b トロンピンは凝固機序作用を示す局所性止血薬である。
- c アスכולピン酸 (ビタミン C) は毛細血管強化作用を示す全身性止血薬である。
- × d ワルファリンカリウムはプロトロンピン産生阻害作用を示す抗凝固薬である。

(問題 15) 歯質変色の副作用がある薬物はどれか。

- a アモキシシリン
- b セファレキシン
- c テトラサイクリン
- d クラリスロマイシン

選択肢考察 答え c

× a アモキシシリン (ペニシリン系) の副作用はアレルギー、ショック、胃腸障害、ビタミン K 欠乏による出血傾向である。

- × b セファレキシン (セフェム系) の副作用はアレルギー、ビタミン K 欠乏による出血傾向である。
- c テトラサイクリンの副作用はエナメル質形成不全、歯の変色である。
- × d クラリスロマイシン (マクロライド系) の副作用は肝障害、腎障害である。

(問題 16) 知覚過敏に有効な歯磨剤の薬用成分はどれか。2つ選べ。

- a 硝酸カリウム
- b 乳酸アルミニウム
- c 塩化ベンゼトニウム
- d アズレンスルホン酸ナトリウム

選択肢考察 答え a b

○ a、○ b 硝酸カリウムや乳酸アルミニウムは知覚過敏に有効な歯磨剤の薬用成分である。
× c 塩化ベンゼトニウムは歯肉炎予防に有効な歯磨剤の薬用成分である。
× d アズレンスルホン酸ナトリウムは歯肉炎予防に有効な歯磨剤の薬用成分である。

(問題 17) 菌体外多糖類を合成する *Streptococcus mutans* の酵素はどれか。

- a アミラーゼ
- b トリプシン
- c ペルオキシダーゼ
- d グルコシルトランスフェラーゼ

選択肢考察 答え d

× a アミラーゼは唾液や涙液に含まれるでんぷんを分解する消化酵素である。
× b トリプシンは膵液に含まれるタンパク質を分解する消化酵素である。
× c ペルオキシダーゼは唾液に含まれる抗菌因子である。
○ d グルコシルトランスフェラーゼは *Streptococcus mutans* がもつ、菌体外多糖類 (不溶性グルカン) を合成する酵素である。*Streptococcus mutans* はスクロースを基質としてグルコシルトランスフェラーゼにより不溶性グルカンを合成する。

(問題 18) 食品として摂取されたフッ化物の体内での動態はどれか。2つ選べ。

- a 脳に蓄積
- b 骨に沈着
- c 尿中に排泄
- d 肝臓で分解

選択肢考察 答え b c

× a フッ化物が脳に蓄積することはない。
○ b 吸収されたフッ化物のうち排泄されなかったフッ化物は、骨などの硬組織に沈着する。
○ c 胃や小腸で吸収されたフッ化物は血中へ入り、尿や汗として排出される。
× d フッ化物は肝臓で分解されない。

(問題 19) 平成 23 年歯科疾患実態調査における年齢と歯肉の所見を表に示す。

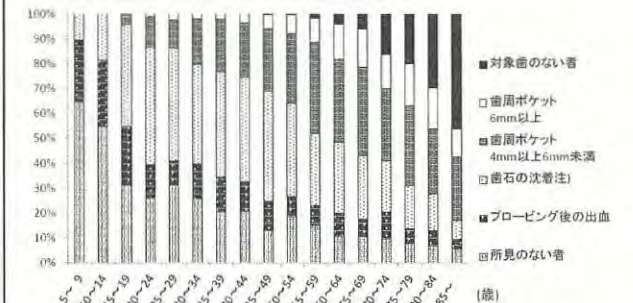
	年齢	最も多い歯肉の所見
①	25~29歳	所見なし
②	35~39歳	歯石の沈着
③	65~69歳	歯周ポケット4mm以上6mm未満
④	75~79歳	歯周ポケット6mm以上

正しいのはどれか。2つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え b c

× a 25~29歳で最も多い歯肉の所見は「歯石の沈着」である。
○ b 35~39歳で最も多い歯肉の所見は「歯石の沈着」である。
○ c 65~69歳で最も多い歯肉の所見は「歯周ポケット4mm以上6mm未満」である。
× d 75~79歳で最も多い歯肉の所見は「歯周ポケット4mm以上6mm未満」である。

<歯肉の所見 (平成23年歯科疾患実態調査)>



注) 歯石の沈着の項には、歯周ポケットが4mm以上の者は含まない。
厚生労働省 平成23年歯科疾患実態調査より

(問題 20) OHI-S (Greene & Vermillion) と PDI (Silness & Loe) で、評価する歯種が同じなのはどれか。2つ選べ。

- a 16
- b 26
- c 36
- d 46

選択肢考察 答え a c

○ a、× b、○ c、× d
OHI-S (Greene & Vermillion) の診査対象部位は $\frac{61}{6} \frac{6}{16}$ であり、PDI (Silness & Loe) の診査対象部位は $\frac{62}{4} \frac{4}{26}$ である。よって、評価する歯種が同じなのは 16 と 36 である。

〔問題 21〕 ある中学校 1 年生 (30 名) の学校歯科健康診断の結果を表に示す。

	総 数
現在歯数	780
未処置歯数	6
処置歯数	28
喪失歯数	2
要観察歯数	24

DMFT 指数はどれか。

- a 0.05
- b 1.2
- c 2.0
- d 6.0

選択肢考察 答え b

× a、○ b、× c、× d
DMFT 指数は被検者全員における DMF 歯の合計 ÷ 被検者数で求められる。被検者全員における DMF 歯の合計は、未処置歯 (D) 数が 6 歯、喪失歯 (M) 数が 2 歯、処置歯 (F) 数が 28 歯のため 36 歯となる。被検者数は 30 名のため、DMFT 指数 = 36 ÷ 30 = 1.2 となる。

〔問題 22〕 健康増進法に基づく市町村の健康増進事業はどれか。2 つ選べ。

- a 特定健康診査
- b 歯周疾患検診
- c 特殊健康診断
- d 骨粗鬆症検診

選択肢考察 答え b d

- × a 特定健康診査は「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく事業である。
- b 歯周疾患検診は「健康増進法」に基づく市町村の健康増進事業である。
- × c 特殊健康診断は「労働安全衛生法」に基づく事業である。
- d 骨粗鬆症検診は「健康増進法」に基づく市町村の健康増進事業である。

〔問題 23〕 職業性歯科疾患で、原因物質と疾病・症状を表に示す。

	原因物質	疾病・症状
①	酸 類	歯周疾患
②	銻物性粉塵	歯の摩耗症
③	ヨウ素	う 蝕
④	カドミウム	歯頸部の着色

正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え b d

- × a 歯周疾患の原因はプラークである。
- b 銻物性粉塵は歯の摩耗症の原因となる。
- × c う蝕の原因はプラークである。
- d カドミウムは歯頸部の着色 (カドミウムリング) の原因となる。

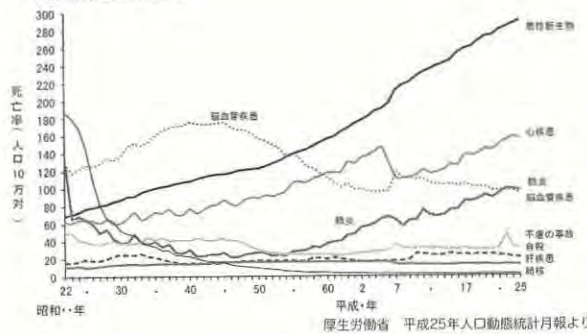
〔問題 24〕 我が国における最近 10 年間の死因別粗死亡率で減少傾向を示しているのはどれか。

- a 肺 炎
- b 心疾患
- c 脳血管疾患
- d 悪性新生物

選択肢考察 答え c

- × a 肺炎は我が国における死因第 3 位で、増加傾向を示している。
- × b 心疾患は我が国における死因第 2 位で、増加傾向を示している。
- c 脳血管疾患は我が国における死因第 4 位で、減少傾向を示している。
- × d 悪性新生物は我が国における死因第 1 位で、増加傾向を示している。

<死因別粗死亡率>



〔問題 25〕 □に入る語句はどれか。

大気汚染物質である PM2.5 は粒子の □ によって規定される。
a 重量
b 体積
c 外径
d 濃度

選択肢考察 答え c

× a、× b、○ c、× d
大気中に浮遊している 2.5 μm 以下の小さな粒子のことを微小粒子状物質 (PM2.5) といい、環境基準を定めて対策を進めてきた浮遊粒子状物質よりも小さな粒子である。大気汚染物質である PM2.5 は粒子の「外径」によって規定される。

〔問題 26〕 新興感染症はどれか。2 つ選べ。

- a 結 核
- b マラリア
- c エボラ出血熱
- d 重症急性呼吸器症候群 (SARS)

選択肢考察 答え c d

× a、× b 再興感染症は社会情勢の変化により、近年まで抑えられていた発症数が再び増加傾向を示すものである。結核やマラリアは再興感染症である。
○ c、○ d 新興感染症は輸入感染症のうち、継続的に国内での発症がみられるようになったものである。エボラ出血熱や重症急性呼吸器症候群 (SARS) は新興感染症である。

〔問題 27〕 身長 160cm の女性。肥満の基準値 (BMI25.0) に最も近い体重はどれか。

- a 54kg
- b 59kg
- c 64kg
- d 69kg

選択肢考察 答え c

× a、× b、○ c、× d
BMI = 体重 (kg) ÷ (身長 (m))² のため、体重を A (kg) とすると、
25.0 = A ÷ (160/100)²
25.0 = A ÷ 2.56
A = 25.0 × 2.56
A = 64 となる。
身長 160cm の女性で肥満の基準値 (BMI25.0) に最も近い体重は 64kg である。

〔問題 28〕 法令を優先順位の高い順に左から示す。正しいのはどれか。

- a 憲法 条例 法律 命令 (政令・省令)
- b 法律 憲法 条例 命令 (政令・省令)
- c 憲法 法律 命令 (政令・省令) 条例
- d 法律 憲法 命令 (政令・省令) 条例

選択肢考察 答え c

× a、× b、○ c、× d
法令を優先順位の高い順に並べると、「憲法」> 条約 > 「法律」> 「命令 (政令・最高裁判所規則・議院規則)」> 「命令 (府令・省令・規則・庁令・国の法令)」> 「条例」> 規則となる。

〔問題 29〕 医療法における医療提供の理念で □に入る語句はどれか。

医療の担い手は医療を提供するにあたり適切な説明を行い、医療を受ける者の □ を得るように努めなければならない。
a 協力
b 理解
c 安心
d 情報

選択肢考察 答え b

× a、○ b、× c、× d
「医療法」第 1 条の 4 の 2 に「医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療の担い手は、医療を提供するに当たり、適切な説明を行い、医療を受ける者の「理解」を得るよう努めなければならない」と規定されている。

〔問題 30〕 国民健康保険法で定める保険者はどれか。2 つ選べ。

- a 事業者
- b 市町村
- c 共済組合
- d 国民健康保険組合

選択肢考察 答え b d

× a 事業者は国民健康保険の保険者とはならない。
○ b 国民健康保険には、市町村 (特別区を含む) に住所がある者を対象に市町村が行うものがあり、この保険者は市町村となる。
× c 共済組合は共済組合保険の保険者となる。

○ d 国民健康保険には医師や歯科医師など同じ種類の職業の者を組合員として国民健康保険組合が行うものがあり、この保険者は国民健康保険組合となる。

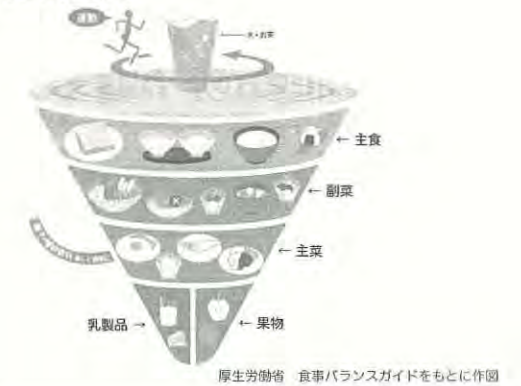
〔問題 31〕 食事バランスガイドにおける主菜はどれか。

- a 野 菜
- b ごはん
- c 肉・魚類
- d 菓子・嗜好飲料

選択肢考察 答え c

- × a 野菜は副菜である。
- × b ごはんは主食である。
- c 肉・魚類は主菜である。
- × d 菓子・嗜好飲料は主菜ではない。

<食事バランスガイド>



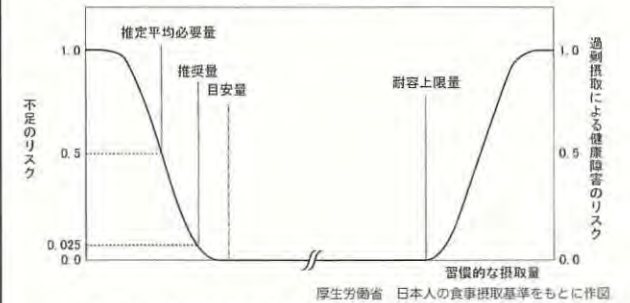
〔問題 32〕 日本人の食事摂取基準において、最も値が小さいのはどれか。

- a 目安量
- b 推奨量
- c 耐容上限量
- d 推定平均必要量

選択肢考察 答え d

× a 目安量は一定の栄養状態を維持するのに十分な量である。
× b 推奨量はほとんどの人が充足している量である。
× c 耐容上限量は過剰摂取による健康障害からの回避を目的とする量である。
○ d 推定平均必要量は半数の人が必要量を満たす量である。日本人の食事摂取基準において、推定平均必要量が最も値は小さいため、不足のリスクが高くなる。

<食事摂取基準の各指標を理解するための概念図>



不足の確率が推定平均必要量では 0.5 (50%) あり、推奨量では 0.02~0.03 (中間値として 0.025) (2~3% または 2.5

%) あることを示す。耐容上限量以上を摂取したときには過剰摂取による健康障害が生じる潜在的なリスクが存在することを示す。そして、推奨量と耐容上限量との間の摂取量では、不足のリスク、過剰摂取による健康障害が生じるリスクとも0に近いことを示す。

- (問題 33) 歯科衛生士の義務として正しいのはどれか。2つ選べ。
a 秘密保持
b パターナリズムの実践
c 2年間の業務記録の保管
d 2年ごとの業務従事者届の提出

- 選択肢考察 答え a d
O a 秘密保持は「歯科衛生士法」第13条の6に規定されている。
x b パターナリズム(患者に対して患者のためになるとして医療者の裁量で処置を行うこと)の実践はインフォームドコンセントに反するため、歯科衛生士の義務ではない。
x c 「歯科衛生士法施行規則」第18条に「歯科衛生士は、その業務を行った場合には、その記録(歯科衛生士業務記録)を作成して3年間これを保存するものとする」と規定されている。
O d 歯科衛生士の現況届出は「歯科衛生士法」第6条に規定されている。2年ごとにその就業地の都道府県知事に届出なければならない。

- (問題 34) エックス線撮影において、デジタル撮影システムがエックス線写真撮影よりも優れているのはどれか。2つ選べ。
a 被曝線量
b 空間分解能
c 画像拡大率
d 画質改善処理

- 選択肢考察 答え a d
O a デジタル撮影システムはエックス線写真撮影(フィルム)法よりも被曝線量は少ないので優れている。
x b 空間分解能はエックス線写真撮影(フィルム)法が優れている。
x c 画像拡大率はデジタル撮影システムもエックス線写真撮影(フィルム)法も同じである。
O d デジタルエックス線撮影システムではコントラストの調整ができるなど、画質改善処理に優れている。

- (問題 35) 血液凝固因子の検査はどれか。
a PT
b CRP
c HbA1c
d γ-GTP

- 選択肢考察 答え a
O a PT(プロトロンビン時間)は外因系凝固因子の検査に用いられる。基準値は10~20秒である。PTの延長は外因系(第VII因子)あるいは共通系(第X、V、II、I因子)の異常を表す。一方、APTT(活性化部分トロンボプラスチン時間)は内因系凝固因子の検査に用いられる。基準値は30~40秒である。APTTの延長は内因系(第VII、IX因子)の異常を表す。ワーファリン服用者はPTとAPTTの延長、血友病ではAPTTの延長がみられる。
x b CRP(C反応性タンパク)は炎症、感染症、梗塞などで組織が破壊されているときに血液中に増加するタンパク質である。基準値は0.2mg/dL以下である。高値を示す

- のは、感染症、急性炎症、膠原病、悪性腫瘍、心筋梗塞などである。
x c HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)はヘモグロビン(Hb)とブドウ糖が結合したグリコヘモグロビンの1つで、1~3か月の血糖値を反映するので、糖尿病の症状の程度を示す。6.5%未満は糖尿病ではない。
x d γ-GTP(ガンマグルタミルトランスペプチダーゼ)は解毒作用のあるグルタチオンを分解する酵素で、腎臓、脾臓、肝臓に存在する。基準値は男性70IU/L/37°C以下、女性30IU/L/37°C以下である。アルコール性肝障害で高値を示す。

- (問題 36) HBe 抗原陽性患者の印象採得物の消毒に有効なのはどれか。
a ポビドンヨード
b グルタルアルデヒド
c 塩化ベンザルコニウム
d 塩酸クロールヘキシジン

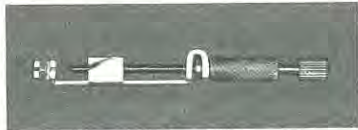
- 選択肢考察 答え b
x a ポビドンヨードはHBV、HCVには無効である。HIVの消毒に有効である。
O b グルタルアルデヒドはHBV、HCV、HIVの消毒に有効である。
x c、x d 塩化ベンザルコニウムと塩酸クロールヘキシジンはHBV、HCV、HIV、結核菌、芽胞の消毒に無効である。ただし、グラム陽性菌、グラム陰性菌の消毒には有効である。

- (問題 37) インプラント体に用いられる材料はどれか。2つ選べ。
a チタン合金
b ステンレス鋼
c コバルトクロム合金
d ヒドロキシアパタイト

- 選択肢考察 答え a d
O a チタン合金は骨結合(オッセオインテグレーション)するので、インプラント体の材料として最も使用されている。
x b ステンレス鋼はインプラント体の材料として使用されない。
x c コバルトクロム合金はインプラント体の材料として使用されていた時代もあるが、現在は使用されていない。
O d インプラント体にヒドロキシアパタイトを表面処理(コーティング)しているものがある。

- (問題 38) 歯科用治療器具の写真(別冊午前 No.3)を別に示す。これを使用する窩洞はどれか。
a 1級
b 2級
c 3級
d 4級

別冊 午前 No.3

- 選択肢考察 答え b

タッフルマイヤー型リテーナー

- x a 1級は臼歯部の小窩裂溝や上顎前歯の舌面小窩などの窩洞である。
O b タッフルマイヤー型リテーナーは、臼歯部の咬合面および隣接面を含む2級複雑窩洞のコンポジットレジン修復などの際にマトリクスバンドとともに用いる。
x c、x d 3級は前歯部の隣接面の窩洞で切縁隅角を含まないもの、4級は前歯部の隣接面の窩洞で切縁隅角を含むものである。

- (問題 39) 歯科治療用器具の写真(別冊午前 No.4)を別に示す。これを使用するのはどれか。2つ選べ。
a メタルインレー修復
b コンポジットレジン修復
c ポーセレンラミネートベニア修復
d 光硬化型ガラスイオノマーセメント修復

別冊 午前 No.4

- 選択肢考察 答え b d

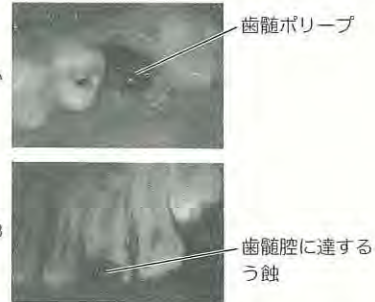
透明なサービカルマトリックス
x a メタルインレー修復には使用しない。
O b、O d 透明なサービカルマトリックスは、歯頸部のコンポジットレジン修復や光硬化型ガラスイオノマーセメント修復に用いる。
x c ポーセレンラミネートベニア修復には使用しない。

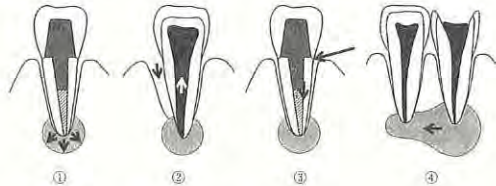
- (問題 40) セラミックインレーがメタルインレーに比較して優れているのはどれか。
a 延展性
b 審美性
c 適合性
d 破壊靱性

- 選択肢考察 答え b
x a セラミックインレーはメタルインレーに比較して延展性が劣っている。
O b セラミックインレーはメタルインレーに比較して審美性に優れている。
x c セラミックインレーはメタルインレーに比較して適合性が劣っている。そのため、セメント層が厚くなる。
x d セラミックインレーはメタルインレーに比較して破壊靱性が劣っている。そのため、インレー体をレジンセメントで合着して破折を防止する。

- (問題 41) 16歳の男子。上顎左側第一大臼歯の痛みを訴えて来院した。1年前からう蝕に気づいていたが放置していたところ、1週間から咀嚼時に疼痛を感じるようになったという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.5A)とエックス線写真(別冊午前 No.5B)を別に示す。
疑われるのはどれか。
a 歯根肉芽腫
b 上行性歯髄炎
c 急性化膿性歯髄炎
d 慢性増殖性歯髄炎

別冊 午前 No.5A、B

- 選択肢考察 答え d

A 歯髄ポリープ
B 歯髄腔に達するう蝕
x a 歯根肉芽腫では歯髄が失活し、根尖部にエックス線透過像がみられる。
x b 上行性歯髄炎は深い歯周ポケットなどから歯髄に感染が生じたものである。
x c 急性化膿性歯髄炎は自発痛や温熱痛を訴える。歯髄ポリープはみられない。
O d 慢性増殖性歯髄炎では大きく露髄し、同部に歯髄ポリープがみられる。食片陥入時に疼痛を訴える。

- (問題 42) 根尖性歯周炎の図を示す。矢印は感染経路を示す。

① ② ③ ④
コロナルリーケージはどれか。
a ① b ② c ③ d ④

- 選択肢考察 答え c
x a ①は根管内の感染が根尖孔外に波及して根尖性歯周炎となったもので、根尖性歯周炎の主たる原因である。
x b ②は歯周ポケットから感染したものである。
O c コロナルリーケージとは歯冠漏洩ともいい、③のように補綴物の辺縁部など歯冠側から細菌が漏洩して感染するものである。
x d ④は隣在歯の根尖病変からの感染である。

(問題 43) 34歳の男性。歯肉の疼痛を訴えて来院した。3日前から歯肉に強い自発痛と接触痛を感じているという。現症として38.2°Cの発熱と強い口臭を示した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.6)を別に示す。

- 疑われるのはどれか。
 a 薬物性歯肉増殖症
 b 慢性剥離性歯肉炎
 c アレルギー性歯肉炎
 d 壊死性潰瘍性歯肉炎

別冊 午前 No.6

選択肢考察

歯肉の出血や潰瘍が認められる



- × a 薬物性歯肉増殖症は歯肉が線維性に腫脹する。
 × b 慢性剥離性歯肉炎は中年以降の女性に多く、歯肉に水泡やびらんがみられる。
 × c アレルギー性歯肉炎は金属やレジンなどアレルギーが原因で、補綴物辺縁部の歯肉にみられやすい。
 ○ d 壊死性潰瘍性歯肉炎は歯肉の壊死や潰瘍がみられ、自発痛や接触痛、口臭などのほか、全身的に発熱や倦怠感などが生じる。症状より、これが疑われる。

答え d

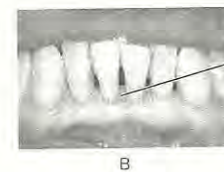
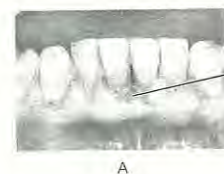
(問題 44) 55歳の女性。下顎左側前歯部歯肉の腫脹を訴えて来院した。2か月前から気づいていたが放置していたという。慢性歯周炎と診断され歯周基本治療を行った。初診時の検査でCEJから歯肉辺縁までの距離はいずれの部位も0mm、再評価時は2mmであった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.7A)と歯周組織検査結果の一部(別冊午前 No.8A)、再評価時の口腔内写真(別冊午前 No.7B)と歯周組織検査結果の一部(別冊午前 No.8B)を別に示す。

改善したのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉の炎症
 b 付着歯肉幅
 c プロービングデプス
 d アタッチメントレベル

別冊 午前 No.7A,B
 No.8A,B

選択肢考察



歯肉が腫脹し、歯石がみられる

歯肉の状態が改善している

答え a c

初診時

歯	④	3	③	②	①	4	4	③	②	①	④
歯種	42				41			31			32
歯幅*	④	3	③	②	①	③	②	③	②	①	③
歯深度	1				1			1			0

*: 歯肉ポケットの深さ (mm)
 □印: プロービング時の出血

再評価時

歯	②	1	1	1	2	1	2	2	1	2	1	④
歯種	42				41			31			32	
歯幅*	2	1	2	1	1	1	1	1	2	3	1	1
歯深度	1				1			1			0	

*: 歯肉ポケットの深さ (mm)
 □印: プロービング時の出血

- a 歯肉の腫脹が改善し、プロービング時の出血部位も減少していることから、歯肉の炎症は改善したと判断できる。
 × b 付着歯肉幅はポケット底から歯肉歯槽粘膜境までである。初診時と再評価時のポケット深さは2mm減少しているが、CEJから歯肉辺縁までの距離が2mm増加しているため、ポケット底の位置に変化はないと考えられる。したがって、付着歯肉幅の改善は考えられない。
 ○ c 歯周組織検査結果の表からプロービングデプスが2mm改善されていることが判断できる。
 × d アタッチメントレベルはCEJからポケット底までの距離である。ポケット底の位置に変化はないと考えられるため、アタッチメントレベルの改善は考えられない。

(問題 45) 咬合器の顎路角を決定できるのはどれか。

- a 筋電図
 b 開口量検査
 c チェックバイト法
 d フェイスボウトランスファー

選択肢考察

- × a 筋電図は筋肉の収縮に伴って発生する活動電位を記録したものである。咀嚼周期を測定することができる。
 × b 開口量検査では上下顎中切歯切縁間の距離を測定する。
 ○ c チェックバイト法の場合、前方チェックバイトで左右側の矢状前方顎路角を、側方チェックバイトで平衡側の側方顎路角と矢状側方顎路角を決定する。
 × d フェイスボウトランスファーとは顔弓(フェイスボウ)を用いて顔面頭蓋に対する上顎の位置を咬合器に対する上顎模型の位置に移し変えることである。

(問題 46) 固定性補綴装置の咬合採得に用いられるのはどれか。2つ選べ。

- a 寒天
 b ワックス
 c アルジネート
 d シリコンラバー

選択肢考察

- × a 寒天は印象採得に用いられる。
 ○ b ワックスは咬合採得に用いられる。
 × c アルジネートは印象採得に用いられる。
 ○ d シリコンラバーは印象採得、咬合採得に用いられる。

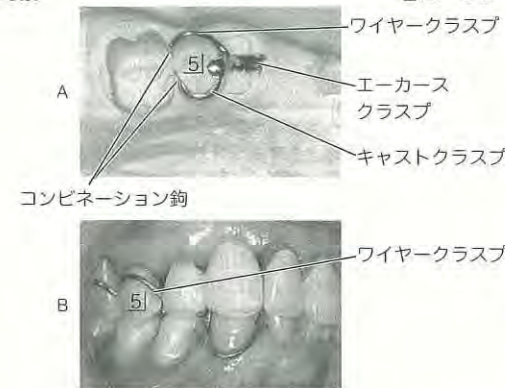
答え b d

(問題 47) 72歳の男性。上顎義歯補修のため鉤脚をろう着した支台装置を製作した。支台装置の写真(別冊午前 No.9A)と第二小臼歯部に支台装置を追補し、上顎に装着された部分床義歯の頬側面写真(別冊午前 No.9B)を別に示す。追補された支台装置の種類はどれか。2つ選べ。

- a RPI鉤
 b ローチ鉤
 c レスト付二腕鉤
 d コンビネーション鉤

別冊 午前 No.9A,B

選択肢考察



答え c d

- × a RPI鉤とは、近心レスト(R)、隣接面板(P)、Iバー(I)で構成されるパークラスプである。写真からパークラスプではない。
 × b ローチ鉤とは、パークラスプの1つで、T型、I型、L型、C型などがある。写真からパークラスプではない。
 ○ c 模型上の写真からレスト付二腕鉤であることがわかる。
 ○ d コンビネーション鉤とは異なるタイプの鉤腕を組合せたクラスプである。写真から頬側がワイヤークラスプ、舌側がキャストクラスプといった異なるタイプの鉤腕を組合せたクラスプであることがわかる。

(問題 48) CAD/CAM装置を用いて加工できる材料はどれか。2つ選べ。

- a レイヤリング用陶材
 b 義歯裏装用シリコーン
 c コンポジットレジンブロック
 d フレームワーク用ジルコニア

選択肢考察

- × a レイヤリング用陶材はフレームワーク用ジルコニアや陶材焼付用合金に焼き付ける。CAD/CAM装置を用いて加工できる材料ではない。
 × b 義歯裏装用シリコーンはCAD/CAM装置を用いて加工できる材料ではない。
 ○ c コンポジットレジンブロックを加工して、レジンジャケット冠(レジン、硬質レジン)を製作する。
 ○ d フレームワーク用ジルコニアを加工して、オールセラミッククラウンを製作する。

答え c d

(問題 49) TNM分類でNが示すのはどれか。

- a 原発腫瘍の大きさ
 b 隣接臓器転移の有無
 c 遠隔臓器転移の有無
 d 所属リンパ節転移の有無と広がり

選択肢考察

答え d

- × a 原発腫瘍の大きさ(広がり)は「T」で表す。
 × b 隣接臓器転移の有無では分類しない。
 × c 遠隔臓器転移の有無は「M」で表す。
 ○ d 所属リンパ節転移の有無と広がり「N」で表す。

(問題 50) 60歳の女性。左側顎下部の違和感を訴えて来院した。食事時に左側顎下部に痛みを自覚するという。診断の結果、外科的処置を行うことになった。初診時のエックス線写真(別冊午前 No.10A)と術中の口腔内写真(別冊午前 No.10B)を別に示す。

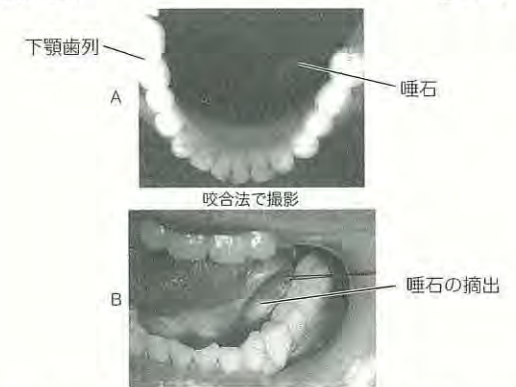
摘出しているのはどれか。

- a 唾石
 b ガマ腫
 c 迷入歯
 d 下顎隆起

別冊 午前 No.10A,B

選択肢考察

答え a



- a 唾石とは大唾液腺(おもに顎下腺)体内または導管内に結石ができたために生じる疾患である。問題文に記載されているように、食事摂取時に唾石痛があるのがこの疾患の特徴である。
 × b ガマ腫とは大唾液腺(顎下腺、舌下腺)の導管が閉塞し、粘液が貯留したものである。片側性に生じる。大きくなることと二重舌がみられる。本症例のように疼痛は生じない。
 × c 迷入歯は上顎大臼歯の抜歯後の偶発症として上顎洞内で発見されることが多い。
 × d 下顎隆起は下顎小臼歯部の舌側にみられる骨隆起である。疾患ではないので疼痛は生じない。

(問題 51) 23歳の女性。下顎右側水平埋伏智歯の抜歯を行った。術中は異常なく経過した。術直後に確認するのはどれか。2つ選べ。

- a 止血状態
 b 感染の有無
 c 口腔清掃状態
 d バイタルサイン

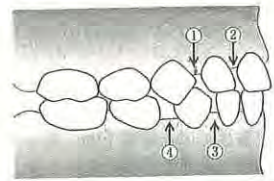
選択肢考察

答え a d

- a 抜歯後出血が生じることもあるので、止血状態を確認する。
 × b 感染の有無は術直後では不明である。
 × c 抜歯後に口腔清掃状態を確認しても無意味である。
 ○ d バイタルサインは可能であれば、術前、術中、術後で確認したほうがよい。

(問題 52) 乳歯列の図を示す。
霊長空隙はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



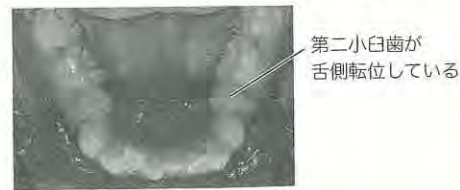
選択肢考察 **答え a d**
 a、 b、 c、 d
 霊長空隙は上顎の乳側切歯と乳犬歯との間、下顎の乳犬歯と第一乳臼歯との間に存在する空隙であるため、①と④が正しい。

(問題 53) 口腔内写真(別冊午前 No.11)を別に示す。
歯列弓形態を表すのはどれか。2つ選べ。

- a 狭窄歯列弓
- b 空隙歯列弓
- c 鞍状歯列弓
- d V字型歯列弓

別冊 午前 No.11

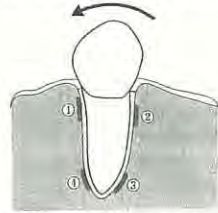
選択肢考察 **答え a c**



- a 狭窄歯列弓は歯列弓の臼歯間幅径が狭いものであり、写真の歯列弓は狭窄している。
- b 空隙歯列弓は歯間に空隙がみられる歯列弓である。写真の歯列弓には空隙はみられない。
- c 鞍状歯列弓は小臼歯が舌側転位し歯列弓が鞍状を呈するものである。写真の歯列弓は鞍状歯列弓である。
- d V字型歯列弓は歯列弓の形がV字型を呈したものであるが、写真の歯列弓はV字型ではない。

(問題 54) 矯正力による歯の傾斜移動を図に示す。
矢印で示す歯の移動で歯槽骨吸収が生じる部位はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察 **答え a c**
 a ①は圧迫側となるため、歯槽骨吸収が生じる。
 b ②は牽引側となるため、歯槽骨の添加が生じる。
 c ③は圧迫側となるため、歯槽骨吸収が生じる。
 d ④は牽引側となるため、歯槽骨の添加が生じる。

(問題 55) 試適時に変形した矯正材料の写真(別冊午前 No.12)を別に示す。

- 形態の修正に用いるのはどれか。
- a バンドシーター
 - b バンドプッシャー
 - c バンドリムービングブライヤー
 - d バンドコンタリングブライヤー

別冊 午前 No.12

選択肢考察 **答え d**



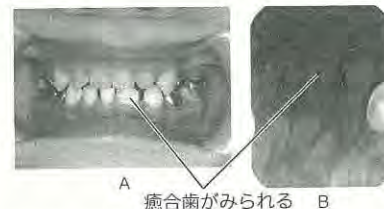
- バンドが変形している
- a バンドシーターはバンドの圧入に用いる。
 - b バンドプッシャーはバンドの圧入に用いる。
 - c バンドリムービングブライヤーはバンドの撤去に用いる。
 - d バンドコンタリングブライヤーはバンドの豊隆の調整に用いる。変形したバンドの修正が可能である。

(問題 56) 4歳の男児。下顎左側乳切歯の形の違いを気にして来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.13A)とエックス線写真(別冊午前 No.13B)を別に示す。

- 歯の形態異常はどれか。
- a 柱状歯
 - b 双生歯
 - c 癒合歯(融合歯)
 - d ハッチンソンの歯

別冊 午前 No.13A、B

選択肢考察 **答え c**



- a 柱状歯は柱状を呈した矮小な歯である。
- b 双生歯はもともと1つの歯胚に陥入が生じて、癒合歯と同じような形態になったもので、歯数は減少しない。
- c 下顎左側の乳中切歯と乳側切歯の癒合歯(融合歯)がみられる。
- d ハッチンソンの歯は先天性梅毒でみられ、切歯切縁が半月状に欠損している。

(問題 57) 水酸化カルシウム製剤を用いた乳歯の歯髄切断法の目的で正しいのはどれか。

- a 歯髄の消炎鎮痛
- b 歯髄の凝固壊死
- c 象牙質橋の形成
- d う蝕象牙質の再石灰化

選択肢考察 **答え c**
 a 水酸化カルシウム製剤は、歯髄の消炎鎮痛を目的として

- 用いられない。
- b 水酸化カルシウム製剤を用いた歯髄切断法では、歯髄の壊死を目的としていない。
 - c 水酸化カルシウムにより象牙質橋(デンチンブリッジ)の形成を図るのが目的である。
 - d う蝕象牙質の再石灰化は歯髄切断法の目的ではない。

(問題 58) 4歳の男児。う蝕の治療を希望して来院した。同年齢の小児が治療を受けている様子を見学させながら、これからの治療の流れを説明した。

- 行った対応はどれか。
- a モデリング法
 - b フラッキング法
 - c トークンエコノミー法
 - d ハンドオーバーマウス法

選択肢考察 **答え a**

- a モデリング法は、模範的に行動しているモデルを観察させ、同じよう行動させようとするものである。
- b フラッキング法は、いきなり強い恐怖などの刺激を与えるものである。
- c トークンエコノミー法は、あらかじめ決められた行動をするたびにトークンを与えるものである。
- d ハンドオーバーマウス法は口を手で覆うものである。

(問題 59) 摂食嚥下障害者に対する機能訓練の写真(別冊午前 No.14)を別に示す。

- この訓練の目的はどれか。
- a 嚥下反射の促進
 - b 食道入口部の開大
 - c 呼吸と嚥下の協調
 - d 喉頭蓋の反転の強化

別冊 午前 No.14

選択肢考察 **答え b**



シャキア法

- a 嚥下反射の促進はアイスマッサージ(嚥下促進訓練)の目的である。
- b 機能訓練の写真から、水平位の状態から頭部のみを挙上しているためシャキア法を行っていることがわかる。シャキア法の目的は、舌骨上筋群など喉頭挙上に関わる筋の筋力強化を行い、食道入口部の開大を図ることである。
- c 呼吸と嚥下の協調はブローイング訓練の目的である。
- d 喉頭蓋の反転の強化はプッシング・プリング(声門閉鎖訓練)の目的である。

(問題 60) 口腔内装置の写真(別冊午前 No.15)を別に示す。
適応症はどれか。

- a 舌挙上不全
- b 食塊形成不全
- c 口唇閉鎖不全
- d 軟口蓋挙上不全

別冊 午前 No.15

選択肢考察 **答え d**



軟口蓋挙上装置(パラタルリフト)

- a、 b、 c、 d
 写真の装置は軟口蓋挙上装置(パラタルリフト)である。軟口蓋挙上装置は、軟口蓋の挙上不全による鼻咽腔閉鎖不全が認められる患者に対して用いられ、軟口蓋挙上子により機械的に軟口蓋を挙上させて、構音時や嚥下時の鼻咽腔の閉鎖を図る装置である。

(問題 61) 経鼻経管栄養について正しいのはどれか。

- a 胃食道逆流を生じる危険がない。
- b チューブ交換は5~6か月ごとである。
- c 胃瘦よりも容易にチューブを留置できる。
- d 水分と栄養を投与するときのみ挿入する。

選択肢考察 **答え c**

- a 胃食道逆流を生じる危険がある患者ではチューブの先端を腸に留置する。
- b チューブの使用期間は4~6週間以内である。
- c 胃瘦は造設術を行う必要があるが、経鼻経管栄養はチューブを留置するだけのため、胃瘦よりも容易にチューブを留置することができる。
- d 水分と栄養を投与するときだけチューブを挿入する間欠法も可能ではあるが、持続的にチューブを留置することが多い。

(問題 62) 88歳の女性。要介護4で、60人が入所できる高齢者施設に半年前に住民票を移して生活している。

- この施設はどれか。
- a 老人保健施設
 - b グループホーム
 - c デイケアセンター
 - d 特別養護老人ホーム

選択肢考察 **答え d**

- a 老人保健施設は症状が安定した患者が入所し、リハビリテーションを中心とするケアと日常生活上の介助を行う施設である。
- b グループホームは疾病や障害などで生活に困難を抱えた高齢者が、専門スタッフの援助を受けながら少人数で共同生活する施設である。
- c デイケアセンターはデイケアを行うための施設である。
- d 特別養護老人ホームは常時介護が必要で家庭での生活が困難なときに入所し、日常生活上の世話や機能訓練、健康管理を行う施設である。特別養護老人ホームは要介護3以上であれば入所可能である。

(問題 63) 歯間部および歯肉の形態異常と関連する要因の組合せで正しいのはどれか。

- a クレフト ————— 不適切なブラッシング
- b フェストゥーン ————— 禁煙
- c テンションリッジ ————— 咬合性外傷
- d ブラックトライアングル ————— 抗菌薬の長期連用

選択肢考察 答え a

- a クレフトは裂溝状の歯肉退縮で、不適切なブラッシングが関連する。
- × b フェストゥーンはロール状肥厚である。禁煙とは関連しない。
- × c テンションリッジは堤状隆起ともいう。咬合性外傷とは関連しない。
- × d ブラックトライアングルは鉸形空隙の乳頭部が退縮したものである。抗菌薬の長期連用とは関連しない。

(問題 64) グレーシータイプキュレットの写真(別冊午前 No. 16)を別に示す。

歯肉縁下での操作時に歯根面と平行になるのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.16

選択肢考察 答え b



- × a、○ b、× c、× d
- グレーシータイプキュレットは、歯肉縁下時での操作時に歯根面と第1シャंकとを平行とする。したがって②が正しい。

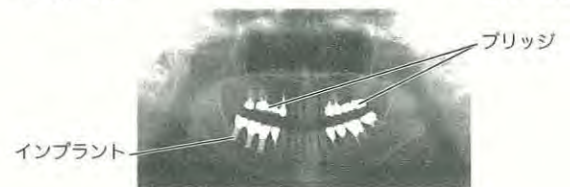
(問題 65) パノラマエックス線写真(別冊午前 No.17)を別に示す。

観察できるのはどれか。2つ選べ。

- a ブリッジ
- b 遊離端義歯
- c インプラント
- d 矯正用ワイヤー

別冊 午前 No.17

選択肢考察 答え a c



- a 上顎両側臼歯部にブリッジがみられる。
- × b 遊離端義歯は装着されていない。
- c 下顎右側臼歯部にインプラントがみられる。
- × d 矯正用ワイヤーはみられない。

(問題 66) う蝕の二次予防はどれか。

- a 口腔清掃
- b 間食指導
- c 義歯装着
- d フッ化ジアンミン銀塗布

選択肢考察 答え d

- × a 口腔清掃はう蝕の第一次予防である。
- × b 間食指導はう蝕の第一次予防である。
- × c 義歯装着はう蝕の第三次予防である。
- d フッ化ジアンミン銀塗布はう蝕の第二次予防である。

(問題 67) 歯周治療後のメインテナンスの意義で誤っているのはどれか。

- a 患者教育
- b 歯周組織の病変の治療
- c モチベーションの再強化
- d 歯周疾患の再発の早期発見

選択肢考察 答え b

- a 歯周治療後のメインテナンスの意義の1つに患者教育が挙げられる。
- × b メインテナンスは治癒した歯周組織に行うものであり、歯周組織の病変の治療は誤りである。
- c 歯周治療後のメインテナンスの意義の1つにモチベーションの再強化が挙げられる。
- d 歯周治療後のメインテナンスの意義の1つに歯周疾患の再発の早期発見が挙げられる。

(問題 68) 歯周病がリスクファクターとなる可能性が指摘されているのはどれか。2つ選べ。

- a 乳癌
- b 誤嚥性肺炎
- c 低体重児出産
- d 筋萎縮性側索硬化症

選択肢考察 答え b c

- × a 歯周病が乳癌のリスクファクターとなる可能性は指摘されていない。
- b 歯周病は誤嚥性肺炎のリスクファクターとなる可能性が指摘されている。
- c 歯周病は低体重児出産のリスクファクターとなる可能性が指摘されている。
- × d 歯周病が筋萎縮性側索硬化症のリスクファクターとなる可能性は指摘されていない。

(問題 69) 上顎右側中切歯のプロービング時の写真(別冊午前 No.18)を別に示す。

正しい挿入操作はどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.18

選択肢考察 答え c



- × a、× b、○ c、× d
- プロービングでは、プローブを歯根面に沿わせるように挿入する。したがって、③が正しい。

(問題 70) 45歳の女性。咬合痛を訴えて来院した。歯周組織検査時の写真(別冊午前 No.19)を別に示す。

検査内容はどれか。

- a 歯の動揺度
- b 根分岐部病変の程度
- c 歯肉縁下のプラーク量
- d 歯根膜腔の拡大の有無

別冊 午前 No.19

選択肢考察 答え b



- × a 歯の動揺度はピンセットを用いて検査する。
- b ファーケーションプローブを用いて根分岐部病変の程度を検査している。
- × c 歯肉縁下のプラーク量を検査しているわけではない。
- × d 歯根膜腔の拡大の有無はエックス線写真で検査する。

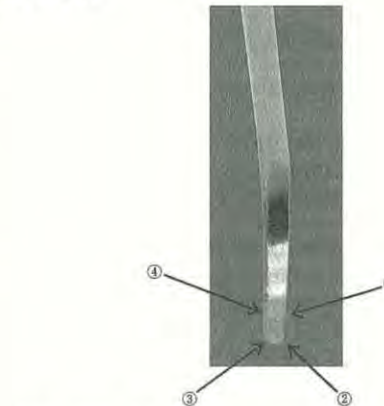
(問題 71) グレーシータイプキュレット#5の刃部を拡大した写真(別冊午前 No.20)を別に示す。

矢印に示す部位でシャープニングの対象とならないのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.20

選択肢考察 答え d



- a、○ b、○ c、× d
- グレーシータイプキュレットは片刃であり、刃部側面

(①)および刃部先端(②③)をシャープニングする。したがって、シャープニングの対象とならないのは④である。

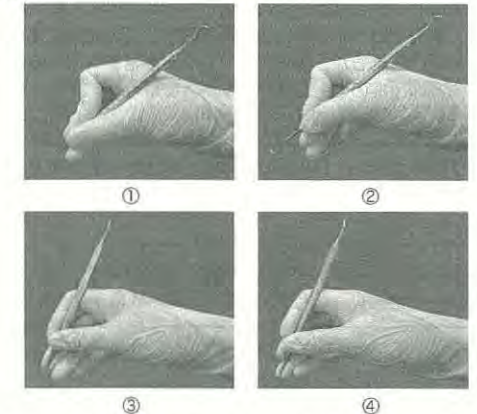
(問題 72) シックルスクレーラの執筆状変法把持法の写真(別冊午前 No.21)を別に示す。

正しいのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.21

選択肢考察 答え c



- × a、× b ①や②はハンドルが第1指のつけ根に位置した誤った把持法である。
- c 執筆状変法把持法は、③のように第1指と第2指でスクレーラを把持し、第3指を頸部付近におく。
- × d ④はスクレーラを第1指と第3指で把持しているため誤りである。

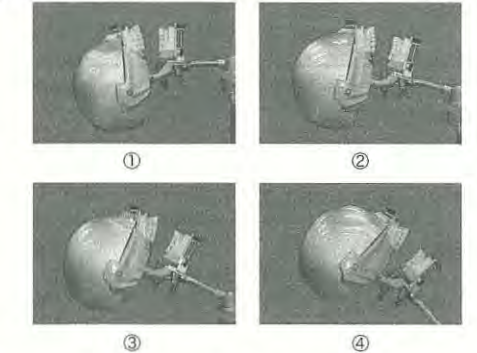
(問題 73) 上顎のスクレーリング時の頭部を設定した写真(別冊午前 No.22)を別に示す。

適したマキシラアングルはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.22

選択肢考察 答え a



- a 上顎のスクレーリング時のマキシラアングルは+15°であるため、①が適している。
- × b ②はマキシラアングルが0°の状態である。
- × c ③はマキシラアングルが-15°の状態である。
- × d ④は傾きが小さすぎ、不適切である。

(問題 74) 30 歳の女性。歯面の色素沈着を訴えて来院した。妊娠高血圧症の治療を行っている。
使用すべきでない器材はどれか。
a エアスケーラー
b 超音波スケーラー
c ポリッシングブラシ
d 炭酸水素ナトリウム歯面清掃器

選択肢考察 答え d
○ a、○ b、○ c エアスケーラーや超音波スケーラー、ポリッシングブラシは歯面の色素沈着の除去に用いられるものであり、妊娠高血圧症の患者にも使用できる。
× d 炭酸水素ナトリウム歯面清掃器は歯面の色素沈着の除去に用いられるが、粉末にナトリウムが含まれているため妊娠高血圧症の患者には使用すべきではない。

(問題 75) 日本人 1 日当たりの食品からのフッ素摂取量はどれか。
a 1 ~ 3mg
b 5 ~ 10mg
c 15 ~ 20mg
d 25 ~ 30mg

選択肢考察 答え a
○ a、× b、× c、× d
日本人の食品からのフッ素摂取量は、1 日当たりおよそ 1 ~ 3mg である。

(問題 76) う蝕活動性試験の目的はどれか。2 つ選べ。
a う蝕進行度の判定
b リコール間隔の決定
c 一人平均う蝕歯数の算出
d う蝕予防プログラムの立案

選択肢考察 答え b d
× a う蝕進行度の判定はう蝕活動性試験の目的ではない。
○ b う蝕活動性試験の目的として、リコール間隔の決定が挙げられる。
× c 一人平均う蝕歯数の算出はう蝕活動性試験の目的ではない。
○ d う蝕活動性試験の目的の 1 つに、う蝕予防プログラムの立案が挙げられる。

(問題 77) APF 歯面塗布剤の取扱いで正しいのはどれか。
a 冷凍庫に保存する。
b ガラス瓶に保存する。
c 塗布の直前に濃度を調整する。
d 事前に必要量を分注しておく。

選択肢考察 答え d
× a APF 溶液は冷所で APF ゲルは常温で保存する。冷凍庫では保存しない。
× b フッ化物はガラス製品を侵蝕しやすいため、ガラス瓶には保存しない。
× c APF は安定しており、直前に濃度を調整することはしない。
○ d APF の歯面塗布を行う際は、事前に必要量を分注しておくのがよい。

(問題 78) フッ化物洗口に用いられるのはどれか。
a フッ化第一スズ
b フッ化ナトリウム
c リン酸酸性フッ化ナトリウム
d モノフルオロリン酸ナトリウム

選択肢考察 答え b
× a フッ化第一スズはフッ化物歯面塗布に用いる。フッ化物洗口には用いられない。
○ b フッ化ナトリウムはフッ化物洗口に用いられる。
× c リン酸酸性フッ化ナトリウムはフッ化物歯面塗布に用いる。フッ化物洗口には用いられない。
× d モノフルオロリン酸ナトリウムはフッ化物配合歯磨剤に用いる。フッ化物洗口には用いられない。

(問題 79) 12 歳の女児。歯科予防処置を希望して来院した。永久歯は 28 本萌出している。これまで歯科予防処置の既往はない。今回、小窩裂溝填塞を行うことになった。
処置の優先順位の高い歯はどれか。
a 第一小臼歯
b 第二小臼歯
c 第一大臼歯
d 第二大臼歯

選択肢考察 答え d
× a 12 歳では第一小臼歯はすでに萌出しており、第二大臼歯と比較して優先順位は低い。
× b 12 歳では第二小臼歯はすでに萌出しており、第二大臼歯と比較して優先順位は低い。
× c 12 歳では第一大臼歯はすでに萌出しており、第二大臼歯と比較して優先順位は低い。
○ d 小窩裂溝填塞は萌出直後の歯に行うとよい。12 歳は第二大臼歯が萌出する時期であり、う蝕リスクが高いため処置の優先順位が高い。

(問題 80) 58 歳の男性。2 年前の脳梗塞で軽度の後遺症が残存している。
歯科衛生士との会話を下に示す。

歯科衛生士：こんにちは。①今日はどのようにして来られましたか。
患者：妻の運転で車に乗りました。
歯科衛生士：歯磨きについてお聞きします。②ご自宅ではどこで歯磨きされていますか。
患者：風呂場の洗面所で歯磨きします。
歯科衛生士：③お口に汚れが残っていますが、磨きにくいですか。
患者：そうですね。この歯ブラシを使っているのですが…
歯科衛生士：グリップが細いですね。④こちらの柄の太いものを試してはいかがですか。
患者：確かに力が入ります。ありがとうございました。

ノーマライゼーションの対応に該当するのはどれか。
a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え d
× a ①は患者が自由に返答できる質問のため、open-ended question (開放型質問) である。
× b ②は患者の返答が歯磨きをしている場所に限定されるため、closed question (閉鎖型質問) である。
× c ③は「はい」か「いいえ」で返答できる質問のため、

closed question (閉鎖型質問) である。
○ d ④はグリップが細い歯ブラシからグリップが太い歯ブラシへの交換を推奨しているため、ノーマライゼーションの対応に該当する。

(問題 81) 改訂水飲みテストで正しいのはどれか。2 つ選べ。
a 3mL の冷水を用いる。
b 不顕性誤嚥を検出する。
c 嚥下機能の確定診断となる。
d 嚥下時の呼吸状態、むせ及び発声を観察する。

選択肢考察 答え a d
○ a 改訂水飲みテスト (MWST) では、冷水 3mL を口腔底に注ぎ嚥下を指示する。
× b 改訂水飲みテストでは不顕性誤嚥を検出することはできない。不顕性誤嚥を検出できる摂食嚥下障害のスクリーニング検査は咳テストである。
× c 改訂水飲みテストは摂食嚥下障害のスクリーニング検査のため、嚥下機能の確定診断とはならない。
○ d 改訂水飲みテストは嚥下時の呼吸状態、むせ及び発声を観察する。

(問題 82) Japan Coma Scale (JCS) の II -20 を表すのはどれか。
a 体をゆさぶると開眼する。
b 痛み刺激に全く反応しない。
c 意識清明とはいえない状態である。
d 痛み刺激を与えても覚醒しないが顔をしかめる。

選択肢考察 答え a
○ a 「体をゆさぶると開眼する」は Japan Coma Scale (JCS) の II -20 である。
× b 「痛み刺激に全く反応しない」は Japan Coma Scale (JCS) の III -300 である。
× c 「意識清明とはいえない状態である」は Japan Coma Scale (JCS) の I -1 である。
× d 「痛み刺激を与えても覚醒しないが顔をしかめる」は Japan Coma Scale (JCS) の III -200 である。

<JCS (Japan Coma Scale) >
III 刺激しても覚醒しない状態
300 痛み刺激にまったく反応しない
200 痛み刺激で少し手足を動かしたり、顔をしかめる
100 痛み刺激に対し、払いのけるような動作をする
II 刺激すると覚醒する状態
30 痛み刺激を加えつつ呼びかけを繰り返すと、辛うじて開眼する
20 大きな声または体をゆさぶることにより開眼する
10 普通の呼びかけで容易に開眼する
I 刺激しなくても覚醒している状態
3 自分の名前、生年月日がいえない
2 見当識障害がある
1 意識清明とはいえない

厚生労働省 インフルエンザ脳症ガイドラインより

(問題 83) 35 歳の男性。定期健康診査で来院した。
①冷たいものを食べると歯がしみるといっており、口腔を観察すると、②歯肉に退縮がみられた。③歯は朝食後と就寝前に磨いているという。いつものように磨いてもらおうと、④歯ブラシを大きく横に動かしていた。
○ データはどれか。2 つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え b d

× a、× c ①と③は主観的情報 (Subjective data) のため S データである。
○ b、○ d ②と④は客観的情報 (Objective data) のため O データである。

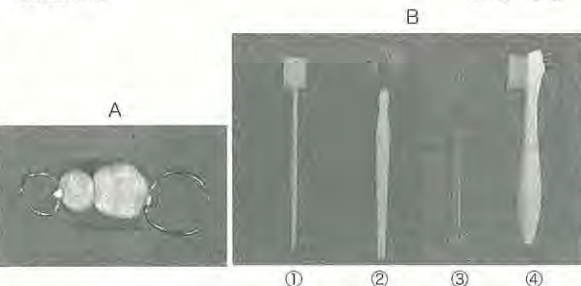
(問題 84) O'Leary の PCR で正しいのはどれか。2 つ選べ。
a 地域集団の把握に適している。
b 診査対象に第三大臼歯は含まない。
c 歯頸部プラークの付着の有無を評価する。
d 診査対象にブリッジのボンティックは含まない。

選択肢考察 答え c d
× a O'Leary の PCR は個人データのため、地域集団の把握には適していない。
× b O'Leary の PCR は診査対象に第三大臼歯を含む。
○ c O'Leary の PCR は歯頸部プラークの付着の有無を評価する。
○ d O'Leary の PCR は診査対象にブリッジのボンティックは含まない。

(問題 85) 義歯の写真 (別冊午前 No.23A) と口腔清掃用品の写真 (別冊午前 No.23B) を別に示す。
この義歯を清掃するための用具はどれか。2 つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.23A、B

選択肢考察 答え c d



× a ①はスポンジブラシであり、口腔粘膜を清掃するための用具である。
× b ②は舌ブラシであり、舌背を清掃するための用具である。
○ c ③は歯間ブラシであり、クラスプ義歯ではクラスプ周囲など義歯ブラシでは清掃しにくい部位に用いる。
○ d ④は義歯ブラシであり、義歯を清掃するための用具である。

(問題 86) 判定基準に歯石の沈着が含まれるのはどれか。
a GI (Löe & Silness)
b OHI
c PHP
d PMA index

選択肢考察 答え b
× a GI (Löe & Silness) は歯肉炎を評価する指標であり、判定基準に歯石の沈着は含まれない。
○ b OHI は口腔清掃の指標であり、DI (Debris score) と CI (Calculus score) から求められる。CI は歯石の沈着を判定しているため、OHI は判定基準に歯石の沈着が含まれる。
× c PHP は口腔清掃の指標であり、判定基準に歯石の沈着は含まれない。

× d PMA index は歯肉炎を評価する指標であり、判定基準に歯石の沈着は含まれない。

(問題 87) 乳幼児の口腔清掃と開始時期の組合せで適切なのはどれか。

- a 歯ブラシに慣らす 7～8 か月
- b ブクブクうがい 12 か月
- c 就寝前の歯磨きの習慣化 24 か月
- d 本人磨きの練習 48 か月

選択肢考察 答え a

- a 生後 7～8 か月では歯ブラシに慣らす練習をする。
- × b 生後 12～18 か月では寝る前の歯磨きを習慣化していく。
- × c 幼児期前期は母親が主体で口腔清掃を行う。生後 24 か月 (2 歳) ころにはブクブクうがいの練習を開始する。
- × d 幼児期後期は幼児自身による口腔清掃を行う。生後 36 か月 (3 歳) ころには本人磨き (母親が仕上げ磨きを行う) の練習を開始する。

(問題 88) RD テスト® の結果の写真 (別冊午前 No.24) を別に示す。

- 結果の説明で正しいのはどれか。
- a 歯の質がやや弱いです。
 - b 唾液の分泌量が少なめです。
 - c 歯ぐきに炎症があるようです。
 - d むし歯の原因菌が多いと思われます。

別冊 午前 No.24

選択肢考察 答え d



ピンク色 → ハイリスク

- × a RD テスト® は唾液を検体として使用するため、歯の質は評価できない。
- × b RD テスト® は唾液を検体として使用するが、唾液の分泌量は評価できない。
- × c RD テスト® は唾液を検体として使用するため、歯ぐきの炎症は評価できない。
- d RD テスト® は唾液を検体として使用し、唾液中の細菌数を評価できる。写真では RD の色調がピンク色 (High) で、唾液中の細菌数が 10^8 以上と評価されるため、むし歯の原因菌が多いと思われる。

(問題 89) 82 歳の男性。右片麻痺があり、義歯の清掃が難しいという。

口腔清掃自立度 (改訂 BDR 指標) の評価を表に示す。

		評価
BDR指標	B歯磨き	b1
	D義歯装着	b
	Rうがい	b
口腔と義歯の清掃自立状態	自発性	a
	習慣性	a
	有効性	b

男性への指導内容で適切なのはどれか。2 つ選べ。

- a うがいの練習
- b 口腔清掃習慣の確立
- c 義歯清掃用具の選択
- d ファーラ位での口腔清掃

選択肢考察 答え a c

- a うがい (R) が「b」は一部介助が必要のため、うがいの練習が必要である。
- × b 自発性が「a」のため自分から進んで磨いており、習慣性が「a」のため毎日磨いていることから、口腔清掃習慣はすでに確立されていると評価される。
- c 義歯装着 (D) が「b」は一部介助が必要で、有効性「b」は歯ブラシの動きが十分ではないため、義歯清掃用具の選択が必要である。
- × d 歯磨き (B) が「b1」は一部介助が必要であるが座位を保っているため、ファーラ位での口腔清掃は必要がない。

(問題 90) 1 歳 1 か月の男児の母親へ摂食に関する指導を行うことになった。男児の現在の状態を以下に示す。

- ・上下左右乳切歯 (8 本) が萌出している。
- ・バナナなどの離乳食を手でつかんで、口に押し込むようにしている。
- ・舌を上下、左右に動かして、押しつぶすように食べている。
- ・水分をコップで一口ずつ飲んでいる。

指導で適切なのはどれか。2 つ選べ。

- a 一口量を覚えさせていく。
- b 平らなスプーンを使用させる。
- c 手づかみで食べさせないようにする。
- d やわらかなものを前歯でかみ取らせる。

選択肢考察 答え a d

- a、× c 上下左右乳切歯 (8 本) が萌出しており、離乳中期～後期と考えられる。離乳後期には手づかみ食べを十分にさせ、一口量を覚えさせていくことが重要である。
- × b 丸み (くぼみ) のあるスプーンを使用させる。
- d 離乳中期には指でつぶせるくらいのやわらかな固さのものを前歯でかみ取らせる。

(問題 91) 73 歳の男性。食事がうまく摂れないと相談を受け、歯科医師とともに訪問した。1 年前に脳出血を発症し、現在、在宅療養中であるという。

最近の栄養アセスメント結果を表に示す。

①	BMI	18.2
②	体重減少率	6 か月で 5%
③	血清アルブミン値	3.3g/dL
④	コレステロール値	200mg/dL

低栄養を疑うのはどれか。2 つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え a c

- a BMI18.2 は 18.5 未満であり低体重のため、低栄養を疑う。
- × b 体重減少率は 6 か月で 10% 以上減少すると低栄養を疑うが、6 か月で 5% のため問題はない。
- c 血清アルブミン 3.3g/dL は 3.1～3.5g/dL の範囲内であり軽度障害がみられるため、低栄養を疑う。
- × d コレステロール値 180mg/dL 未満は低栄養を疑うが、200mg/dL のため問題はない。

(問題 92) ビタミン欠乏と疾患の組合せで正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a ビタミン A —— エナメル質形成不全
- b ビタミン D —— 骨軟化症
- c ビタミン E —— 象牙質形成不全
- d ビタミン K —— 口角炎

選択肢考察 答え a b

- a ビタミン A の欠乏によりエナメル質形成不全が生じる。
- b ビタミン D の欠乏により幼児ではくる病、成人では骨軟化症が生じる。
- × c ビタミン E の欠乏症はあまりみられない。
- × d ビタミン K の欠乏により血液凝固の遅延が生じる。ただし、ビタミン K は腸内細菌により産生されるため、欠乏することはまれである。

(問題 93) 特別支援学校における歯科衛生士の役割で適切なのはどれか。2 つ選べ。

- a 健康診断の実施
- b 嚥下機能に応じた献立の作成
- c 口腔機能育成のための摂食指導
- d 障害の程度に応じた口腔清掃用具の選択

選択肢考察 答え c d

- × a 健康診断の実施は特別支援学校の役割である。
- × b 嚥下機能に応じた献立の作成は特別支援学校における管理栄養士の役割である。
- c 口腔機能育成のための摂食指導は特別支援学校における歯科衛生士の役割である。
- d 障害の程度に応じた口腔清掃用具の選択は特別支援学校における歯科衛生士の役割である。

(問題 94) 全部床義歯の印象採得で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 翼突下顎ヒダは下顎印象域に含まれる。
- b 既製トレーの修正は試適してから行う。
- c 筋圧形成は口蓋隆起部の精密印象を目的に行う。
- d 精密印象で得られた陰型から作業用模型を製作する。

選択肢考察 答え b d

- × a 翼突下顎ヒダは下顎印象域に含まれない。
- b 既製トレーの修正は試適してからキューティリティーワックスなどを用いて行う。
- × c 筋圧形成は義歯床縁部の精密印象を目的に行う。口蓋隆起部は床縁部ではないので筋圧形成は不要である。
- d 精密印象で得られた陰型 (印象体) から作業用模型を製作する。

(問題 95) 石膏の硬化時間を短くするのはどれか。

- a 水量を多くする。
- b 水温を低くする。
- c 練和時間を短くする。
- d 練和速度を速くする。

選択肢考察 答え d

- × a 水量を少なくすると硬化時間は短くなる。
- × b 水温を高くする (60℃まで) と硬化時間は短くなる。
- × c 練和時間を長くすると硬化時間は短くなる。
- d 練和速度を速くすると硬化時間は短くなる。

(問題 96) 歯肉排除用綿糸に浸透させるのはどれか。2 つ選べ。

- a 血管収縮薬
- b 血流改善薬
- c 血管拡張薬
- d 血管収斂薬

選択肢考察 答え a d

- a、○ d 歯肉溝からの出血を防止するために、血管収縮薬 (アドレナリン) や血管収斂薬 (塩化アルミニウム、硫酸アルミニウム) の薬剤を浸透させた歯肉排除用綿糸を用いることがある。
- × b、× c 血流改善薬や血管拡張薬を歯肉排除用綿糸に浸透させることはない。

(問題 97) ノロウイルス感染者の吐物の処理の手順を示す。

- ① 使い捨ての防護具を着用する。
- ② 吐物をペーパータオルで拭き取る。
- ③ 拭き取った吐物は便器に流す。
- ④ 拭き取った後の床は次亜塩素酸ナトリウムで消毒する。

適切でないのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え c

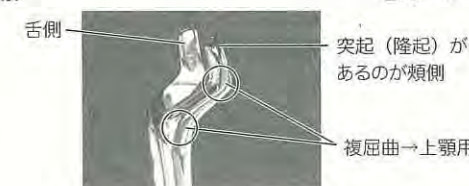
- a 使い捨ての防護具 (マスク、手袋) を着用する。さらに眼鏡やゴーグルを着用することが望ましい。
- b 吐物を予め消毒薬 (次亜塩素酸ナトリウム) に浸したペーパータオルや雑巾で拭き取る。
- × c 拭き取った吐物はビニール袋に入れて密封し、破棄する。
- d 拭き取った後の床は次亜塩素酸ナトリウムで消毒する。エタノールや塩化ベンザルコニウムなどを用いても効果がない。

(問題 98) 抜歯鉗子の写真 (別冊午前 No.25) を別に示す。適用部位で正しいのはどれか。

- a 上顎右側大白歯
- b 下顎右側大白歯
- c 上顎左側大白歯
- d 下顎左側大白歯

別冊 午前 No.25

選択肢考察 答え c



× a、× b、○ c、× d

上顎大臼歯用拔牙鉗子は複屈曲で、左右側で異なる。嚙部に突起（隆起）があるのが頰側なので、上顎左側大臼歯用である。

(問題 99) 不顕性誤嚥で正しいのはどれか。

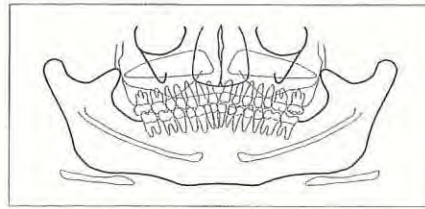
- a 誤嚥の自覚がある。
- b 就寝時にもみられる。
- c 肺炎のリスクは低い。
- d むせなどの反射が起きる。

選択肢考察

答え b

- × a 誤嚥の自覚はない。
- b 就寝時にもみられる。
- × c 口腔衛生管理不良にて口腔内細菌を不顕性誤嚥することがあるので肺炎のリスクは高い。
- × d むせなどの反射は起きないが、嘔声が目立ったり、呼吸が荒くなることもある。

(問題 100) パノラマエックス線写真のトレースを示す。



咬合平面が山型になった原因と考えられる患者の位置づけはどれか。

- a 顔が下を向いていた。
- b 顔が上を向いていた。
- c 適切な断層域より前に位置していた。
- d 適切な断層域より後ろに位置していた。

選択肢考察

答え b

- × a 顔が下を向いていると咬合平面がV型になる。
- b 顔が上を向いていると咬合平面がΛ型になる。
- × c 適切な断層域より前に位置していると水平方向に拡大してぼけた像になる。
- × d 適切な断層域より後ろに位置していると水平方向に縮小してぼけた像になる。

(問題 101) ABO 式血液型の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a A 型の赤血球には B 抗原がある。
- b B 型の血清中には抗 B 抗体がある。
- c O 型の血清中には抗 A 抗体がある。
- d AB 型の赤血球には A 抗原がある。

選択肢考察

答え c d

- × a A 型の赤血球には A 抗原がある。A 型の血清中には抗 B 抗体がある。
- × b B 型の赤血球には B 抗原がある。B 型の血清中には抗 A 抗体がある。
- c O 型の赤血球には抗原がない。O 型の血清中には抗 A 抗体および抗 B 抗体がある。
- d AB 型の赤血球には A 抗原および B 抗原がある。O 型の血清中には抗体がない。

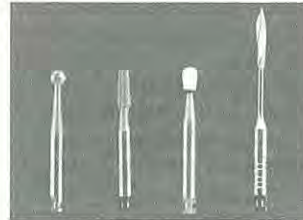
(問題 102) 器具の写真（別冊午前 No.26）を別に示す。器具の用途で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ① —— 軟化象牙質の除去
- b ② —— 金属製造冠の除去
- c ③ —— コンポジットレジンの咬合調整
- d ④ —— 根管充填用の糊剤の挿入

別冊 午前 No.26

選択肢考察

答え a c



① ② ③ ④

- a ① はラウンドバーで、用途は軟化象牙質の除去、う窩の開拓、髄腔穿孔である。
- × b ② はテーパードフィッシャーバーで、用途はインレー窩洞の形成、修正である。
- c ③ はホワイトポイントで、用途はコンポジットレジンの形態修正、研磨、咬合調整である。
- × d ④ はピースリーマーで、用途は根管拡大、根管充填材や糊剤の除去である。

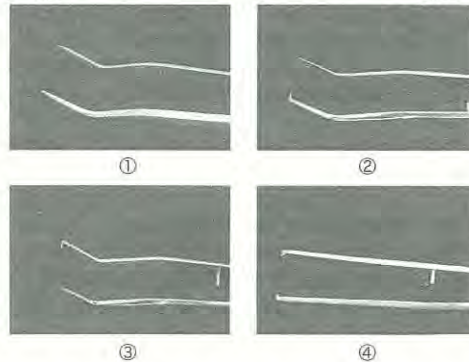
(問題 103) 58 歳の男性。上顎左側臼歯部頰側の歯肉切除術を行うことになった。器具の写真（別冊午前 No.27）を別に示す。ポケット底の確認するための器具はどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.27

選択肢考察

答え c



① ② ③ ④

- × a ① は基本セットの1つである歯科用ピンセットの先端である。
- × b ② は上顎右側臼歯部頰側、下顎左側臼歯部頰側用のポケットマーカの先端である。
- c ③ は上顎左側臼歯部頰側、下顎右側臼歯部頰側用のポケットマーカの先端である。
- × d ④ は外科用の有鉤ピンセットの先端である。

(問題 104) リッジラップ型ポンティックのブリッジ装着後に、基底面のセメント除去に用いるのに適切なのはどれか。

- a 綿棒
- b 分離材
- c タフトブラシ
- d スーパーフロス

選択肢考察

答え d

- × a 余剰セメントの除去のために綿棒は使用しない。
- × b 分離材を予め接着面以外の部分に塗布しておく方法もある。本問は基底面に限定しているため、ほかの選択肢を優先すべきである。
- × c タフトブラシは支台歯（鉤歯）の歯頸部および咬合面のプラーク除去に使用する。
- d 基底面のセメント除去にはスーパーフロスを用いる。

(問題 105) 障害者の歯科治療時における行動調整で誤っているのはどれか。

- a 患者の権利や尊厳を守る。
- b 静脈内鎮静法は有意識下で行う。
- c 行動変容法を併用して進めると効果的である。
- d 協力度が向上しても抑制器具や開口器は外さない。

選択肢考察

答え d

- a 患者の権利や尊厳を守るのはどのような患者でも共通である。
- b 静脈内鎮静法は有意識下で行う。
- c 行動変容法を併用して進めると効果的である。
- × d 協力度が向上したら抑制器具や開口器は外してもよい。

(問題 106) 主に嵌合力で合着する材料はどれか。

- a レジンセメント
- b リン酸亜鉛セメント
- c カルボキシレートセメント
- d グラスアionoマーセメント

選択肢考察

答え b

- × a レジンセメントは歯質・金属・セラミックスに接着する。
- b リン酸亜鉛セメントは接着性がなく、嵌合力で合着する。
- × c カルボキシレートセメントは歯質・金属に接着する。
- × d グラスアionoマーセメントは歯質・金属に接着する。

(問題 107) 4-META/MMA-TBB 系接着性レジンセメントについて正しいのはどれか。2つ選べ。

- a フィラーが配合されている。
- b 筆積み法で使用することができる。
- c 非貴金属には金属処理剤を使用する。
- d モノマー液にカタリストを含んだ状態で使用する。

選択肢考察

答え b d

- × a フィラーは配合されていない。
- b 筆積み法でも混和法でも使用することができる。
- × c 非貴金属には金属処理剤を使用することなく接着できる。
- d モノマー液にカタリストを含んだ状態で使用する。

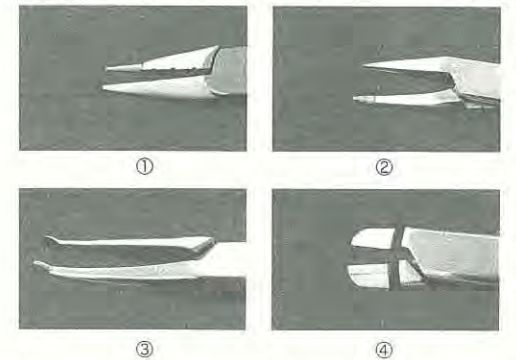
(問題 108) 矯正用プライヤーの写真（別冊午前 No.28）を別に示す。プライヤーと用途の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ① —— 結紮
- b ② —— ワイヤの屈曲
- c ③ —— ワイヤの着脱
- d ④ —— ワイヤの切断

別冊 午前 No.28

選択肢考察

答え b c



- × a ① はジャラバックプライヤーである。細いワイヤーの屈曲に用いる。
- b ② はツイードループベンディングプライヤーである。レクタングラーワイヤーに小さなループを付与するプライヤーである。
- c ③ はホウプライヤーである。ワイヤーの適合・着脱、リガチャーワイヤーの結紮に使用する。
- × d ④ はツイードアーチベンディングプライヤーである。レクタングラーワイヤーにトルクを付与したり屈曲するのに用いる。

(問題 109) 咬合採得時の写真（別冊午前 No.29）を別に示す。準備する器材はどれか。2つ選べ。

- a 適合試験材
- b 人工歯モールドガイド
- c アルコールトーチランプ
- d モデリングコンパウンド

別冊 午前 No.29

選択肢考察

答え b c

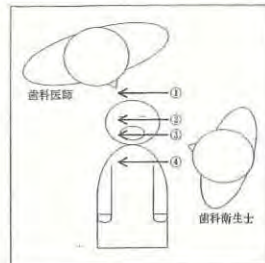


- × a 適合試験材は義歯装着時に準備する。
- b 人工歯モールドガイドは咬合採得終了後の人工歯選択の際に使用する。
- c アルコールトーチランプは咬合堤の修正や上下顎咬合床の固定の際に使用する。
- × d モデリングコンパウンドは印象採得時に準備する。

(問題 110) 5 歳の男児。外傷による歯の破折を主訴として来院した。上顎両側乳中切歯の抜歯を行うために浸潤麻酔を行うことになったが、号泣して体動がある。

注射筒を受け渡す経路を図の①～④に示す。適切なのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

答え a

○ a、× b、× c、× d

器具を患児に見せないように、頭部後方で器具を手渡すのが基本である。したがって、注射筒を受け渡す経路で正しいのは①である。

解説 (午後問題)

(問題 1) 消化管で、胆汁が流入するのはどれか。

- a 食道
- b 胃
- c 十二指腸
- d 空腸

選択肢考察

答え c

× a、× b、○ c、× d

胆汁は肝臓から分泌される。胆嚢で水と電解質が吸収され、濃縮後は総胆管を通過して十二指腸内に流入する。

(問題 2) 口腔内写真(別冊午後 No.1)を別に示す。

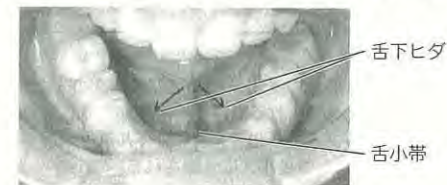
矢印で示す部位に開口する唾液腺はどれか。

- a 耳下腺
- b 前舌腺
- c 舌下腺
- d 顎下腺

別冊 午後 No.1

選択肢考察

答え c



- × a 耳下腺の開口部位は上顎第二大臼歯付近の頬粘膜に存在する耳下腺乳頭である。
- × b 前舌腺 (Blandin Nuhn 腺) の開口部位は舌小帯付近の舌下面である。
- c 舌下腺の開口部位は舌下小丘と矢印に示す舌下ヒダである。
- × d 顎下腺の開口部位は舌下小丘である。

(問題 3) オトガイ孔から出る神経が走行中に通過するのはどれか。

- a 歯槽孔
- b 切歯孔
- c 下顎孔
- d 眼窩下孔

選択肢考察

答え c

- × a 歯槽孔は上顎結節に存在し、上顎神経の枝の後上歯槽枝が通過する。
- × b 切歯孔は口蓋骨の正中口蓋縫合の前方に存在し、上顎神経の枝の鼻口蓋神経が通過する。
- c 下顎孔は下顎骨内面に存在する下顎管の入口で、オトガイ孔が出口である。下歯槽神経が通過する。
- × d 眼窩下孔は上顎骨前面に存在し、上顎神経の枝の眼窩下神経が通過する。

(問題 4) 下顎骨の写真(別冊午後 No.2)を別に示す。内側翼突筋の附着部はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊 午後 No.2

選択肢考察

答え c



- × a ①は側頭筋の停止部位の筋突起である。
- × b ②は外側翼突筋の停止部位の関節突起である。
- c ③は内側翼突筋の停止部位の翼突筋粗面である。
- × d ④は顎舌骨筋の起始部位の顎舌骨筋線である。

(問題 5) 細胞膜を構成するリン脂質二重層を容易に通過するのはどれか。

- a 脂肪酸
- b グルコース
- c ヘモグロビン
- d ナトリウムイオン

選択肢考察

答え a

- a 細胞膜は選択的透過性をもたらすリン脂質二重層で構成されている。細胞膜の表層は親水性で、中層部は疎水性のため、疎水性分子は脂質二重層に溶け込んで容易に膜を通過することができる。脂肪酸は脂溶性物質(疎水性分子)なので細胞膜を容易に通過する。また、酸素や二酸化炭素、炭化水素などの非極性分子(疎水性分子)も容易に細胞膜を通過する。
- × b、× c、× d イオンや親水性分子は細胞膜を直接通過することはできない。親水性分子(グルコース、ヘモグロビンなど)はゆっくりであれば通過できる。水は小さな分子であるが極性分子のため透過はあまり速くない。

(問題 6) 炭水化物はどれか。

- a グアニン
- b グリシン
- c グルコース
- d グリセロール

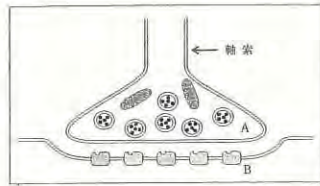
選択肢考察

答え c

- × a グアニン (G) とは核酸 (DNA と RNA) を構成する塩基の 1 つである。
- × b グリシン (Gly) とはアミノ酸の 1 つである。コラーゲン分子の約 1/3 をグリシンが占める。
- c グルコース (ブドウ糖) は単糖類の 1 つなので、炭水化物(糖質)である。
- × d グリセロール (グリセリン) に脂肪酸が結合したのが中性脂肪(トリグリセリド)である。

(問題 7) シナプスの図を示す。
A-B間を伝わるのはどれか。

- a 活動電位
- b 神経伝達物質
- c シナプス後電位
- d カルシウムイオン



選択肢考察 答え b
× a、○ b、× c、× d
図 A は神経終末、図 B はシナプス下膜の受容体を表している。A-B間を伝わるのは神経伝達物質である。

(問題 8) 細胞死について [] に入る語句の組合せで正しいのはどれか。

[①] は成長に伴う胸腺の消失に関与し、炎症反応を [②]。

- | | |
|----------|---------|
| ① | ② |
| a 壊死 | 引き起こす |
| b 壊死 | 引き起こさない |
| c アポトーシス | 引き起こす |
| d アポトーシス | 引き起こさない |

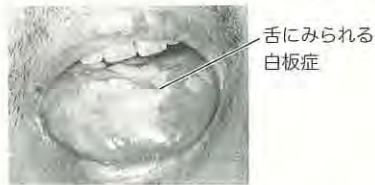
選択肢考察 答え d
× a、× b、× c、○ d
アポトーシスは成長に伴う胸腺の消失に関与し、炎症反応を引き起こさない。
アポトーシスは遺伝的に制御された細胞死である。一方、傷害性因子で起こる細胞死が壊死である。壊死は細胞質が膨化し、細胞膜が破壊し、炎症反応を引き起こす。

(問題 9) 擦過により除去できない白色病変の写真(別冊午後 No.3)を別に示す。

- 白色病変の主体をなす病理組織所見はどれか。
- a 線維増生
 - b 血管増殖
 - c 上皮肥厚
 - dメラニン色素沈着

別冊 午後 No.3

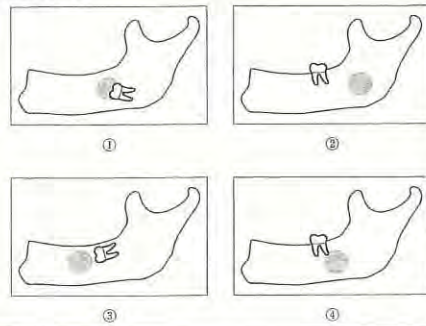
選択肢考察 答え c



× a、× b、○ c、× d
舌に生じた擦過により除去できない白色病変なので、白板症と考えられる。白板症の病理組織所見は、角化亢進、基底細胞の増殖、上皮肥厚、上皮脚の伸長、棘細胞層の肥厚などがみられる。

(問題 10) 下顎骨に発生する嚢胞と歯の位置を図に示す。灰色部は嚢胞を示す。

- 歯根嚢胞はどれか。
- a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④



選択肢考察 答え d
× a、× b、× c、○ d
歯根嚢胞は根尖部に境界明瞭な類円形のエックス線透過像がみられる。そのような病態図は④である。

(問題 11) レトロウイルスはどれか。

- a B型肝炎ウイルス
- b ムンプスウイルス
- c インフルエンザウイルス
- d ヒトT細胞白血病ウイルス

選択肢考察 答え d
× a B型肝炎ウイルスは肝炎ウイルスの1つで、DNAウイルスに分類される。
× b ムンプスウイルス、麻疹ウイルスはパラミクソウイルスで、RNAウイルスに分類される。
× c インフルエンザウイルスはRNAウイルスに分類される。
○ d レトロウイルスには、ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV)、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)がある。RNAウイルスに分類される。

(問題 12) 女性ホルモンによって発育促進がみられるのはどれか。

- a *Prevotella intermedia*
- b *Actinomyces naeslundii*
- c *Tannerella forsythensis* (forsythia)
- d *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*

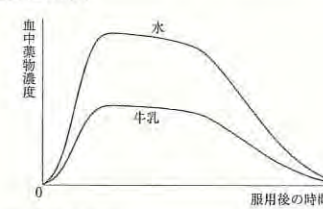
選択肢考察 答え a
○ a *Prevotella intermedia* は黒色素産生性のグラム陰性偏性嫌気性桿菌である。妊娠性歯肉炎や思春期性歯肉炎と深い関係があると考えられており、女性ホルモンによって発育促進がみられる。
× b *Actinomyces naeslundii* は放線菌症や高齢者の根面う蝕の病巣から分離される。
× c *Tannerella forsythensis* (forsythia) は紡錘状のグラム陰性偏性嫌気性桿菌である。慢性歯周炎の活動期の病巣から分離される。*Porphyromonas gingivalis* と *Treponema denticola* とともに重度歯周炎に関連する「Red Complex」とよばれている。
× d *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* は侵襲性歯周炎の病巣から分離される。

(問題 13) 局所麻酔薬に配合される血管収縮薬はどれか。

- a アトロピン
- b アスピリン
- c アドレナリン
- d アンピシリン

選択肢考察 答え c
× a アトロピンは副交感神経遮断薬である抗コリン薬の1つである。
× b アスピリンは酸性非ステロイド性抗炎症薬の1つである。
○ c アドレナリンは局所麻酔薬に配合される血管収縮薬である。
× d アンピシリンはペニシリン系抗菌薬の1つである。

(問題 14) ある薬物を水または牛乳で服用後の血中薬物濃度-時間曲線を図に示す。



服用した薬物はどれか。

- a ペニシリン系薬
- b マクロライド系薬
- c テトラサイクリン系薬
- d アミノグリコシド系薬

選択肢考察 答え c
× a、× b、○ c、× d
図の血中薬物濃度-時間曲線から牛乳と一緒に服用すると吸収が抑制されていることがわかる。テトラサイクリン系抗菌薬はCa²⁺、Mg²⁺などの二価金属イオンを含む牛乳や制酸薬などと一緒に服用すると、キレートを形成するので、消化管からの吸収が抑制される。

(問題 15) 日本薬局方を公示するのはどれか。

- a 厚生労働省
- b 日本保険薬局協会
- c 食品医薬品安全センター
- d 医薬品医療機器総合機構

選択肢考察 答え a
○ a 日本薬局方とは、重要な医薬品を収載、その強度、品質、純度の基準を定めたものである。5年ごとに改訂される。厚生労働省が公示する。
× b 日本保険薬局協会とは保険薬局が中心となっている団体である。
× c 食品医薬品安全センターとは食品、医薬品、医療機器および化学物質の安全性試験を受託している施設である。
× d 医薬品医療機器総合機構とは医薬品などの健康被害救済、承認審査、安全対策の3つの役割を一体として行う公的機関である。

(問題 16) 唾液の緩衝作用と再石灰化の両方の機能に関わるのはどれか。

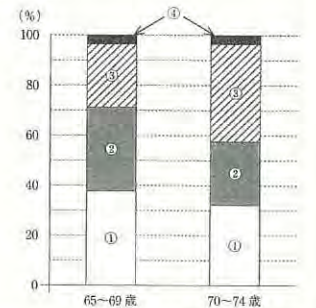
- a 乳酸
- b 炭酸
- c リン酸
- d クエン酸

選択肢考察 答え c
× a、× b、○ c、× d
唾液の緩衝作用には重炭酸イオンとリン酸イオンが関わり、再石灰化にはカルシウムイオンやリン酸イオン、フッ素イオンが関わるため、唾液の緩衝作用と再石灰化の両方の機能に関わるのはリン酸である。

(問題 17) 平成 23 年歯科疾患実態調査の 65~69 歳と 70~74 歳の歯の状態を図に示す。

③はどれか。

- a 健全歯
- b 未処置歯
- c 処置歯
- d 喪失歯



選択肢考察 答え d
× a ①は健全歯である。
× b ④は未処置歯である。
× c ②は処置歯である。
○ d ③は喪失歯である。

(問題 18) う蝕の発生要因になる甘味料はどれか。

- a スクラロース
- b フルクトース
- c アスパルテーム
- d エリスリトール

選択肢考察 答え b
× a、× c スクラロースやアスパルテームは人工的に合成された甘味料で、スクラロースと同程度の甘さを発揮するようになわずかな量では酸を産生せず、不溶性グルカンも生成しない。
○ b フルクトースは酸産生の材料となるため、う蝕の発生要因となる甘味料である。
× d エリスリトールは糖アルコールであり、酸をほとんど産生せず、不溶性グルカンも生成しない。

(問題 19) フッ素イオン濃度が最も高いのはどれか。

- a フッ化物パーニッシュ
- b フッ化第一スズ配合歯磨剤
- c リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液
- d モノフルオロリン酸ナトリウム配合歯磨剤

選択肢考察 答え a
○ a フッ化物パーニッシュのフッ化物イオン濃度は 22,600ppm である。
× b、× d 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性

の確保等に関する法律」により、すべての歯磨剤のフッ化物イオン濃度は 1,000ppm 以下と規定されている。

× c リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液 (APF 溶液) のフッ化物イオン濃度は、第 1 法で 12,300ppm、第 2 法で 9,000ppm である。

(問題 20) 口腔癌の第一次予防はどれか。2 つ選べ。

- a 禁煙指導
- b 適正飲酒
- c 減塩運動
- d がん検診

選択肢考察 答え a b

- a、○ b 禁煙指導や適正飲酒は口腔癌の第一次予防である。
- × c 減塩運動は口腔癌とは関連がない。
- × d がん検診は口腔癌の第二次予防である。

(問題 21) 3 歳児歯科健康診査の受診者 10 名の結果を表に示す。

う蝕罹患型 A 型の割合はどれか。

- a 10%
- b 20%
- c 30%
- d 40%

受診者番号	う蝕がみられた部位(✓)			
	上顎前歯部	上顎側歯部	下顎前歯部	下顎側歯部
1	✓	✓	✓	
2		✓		
3	✓		✓	
4				
5				
6				✓
7				
8			✓	✓
9	✓	✓		
10				

選択肢考察 答え c

- × a、× b、○ c、× d
- う蝕罹患型 A 型は「上顎前歯部のみまたは臼歯部にう蝕がある」状態である。

受診者番号	う蝕罹患型
1	B
2	A
3	A
4	O
5	O
6	A
7	O
8	C2
9	B
10	O

う蝕罹患型 A 型の受診者は 10 名中 3 名のため、う蝕罹患型 A 型の割合 = $3/10 \times 100 = 30 (\%)$ となる。

(問題 22) 学校歯科健康診断の結果、GO と判定された者への対応はどれか。2 つ選べ。

- a 口腔衛生指導
- b 歯石除去の勧奨
- c う蝕処置の指示
- d 生活習慣の指導

選択肢考察 答え a d

- a、○ d 「GO」は歯周疾患要観察者のため、口腔衛生指導や生活習慣の指導を行う。
- × b 歯石沈着「ZS」と判定された場合の対応である。

× c 未処置歯「C」と判定された場合の対応である。

(問題 23) 健康日本 21 (第二次) の基本的な方向で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 健康寿命の延伸
- b 健康格差の縮小
- c 壮年期死亡の減少
- d 高度先進医療の推進

選択肢考察 答え a b

- a、○ b 健康日本 21 (第二次) の基本的な方向は健康寿命の延伸と健康格差の縮小である。
- × c、× d 壮年期死亡の減少や高度先進医療の推進は健康日本 21 (第二次) の基本的な方向ではない。

(問題 24) 水道法の水質基準において検出されないことと規定されているのはどれか。

- a 水銀
- b 大腸菌
- c フッ素
- d ホルムアルデヒド

選択肢考察 答え b

- × a 水銀は「水道法」で「水銀の量に関して、0.0005mg/L 以下であること」と規定されている。
- b 大腸菌は「水道法」で「検出されないこと」と規定されている。
- × c フッ素は「水道法」で「フッ素の量に関して、0.8mg/L 以下であること」と規定されている。
- × d ホルムアルデヒドは「水道法」で「0.08mg/L 以下であること」と規定されている。

(問題 25) 予防接種において生ワクチンを用いるのはどれか。

- a 麻疹
- b 破傷風
- c 百日咳
- d インフルエンザ

選択肢考察 答え a

- a 予防接種において麻疹は生ワクチンを用いる。
- × b 予防接種において破傷風はトキソイドを用いる。
- × c 予防接種において百日咳は成分ワクチンを用いる。
- × d 予防接種においてインフルエンザは成分ワクチンを用いる。

(問題 26) 学校保健において感染症により出席を停止させることができるのはどれか。

- a 校長
- b 学校医
- c 市町村長
- d 保健所長

選択肢考察 答え a

- a、× b、× c、× d
- 「学校保健安全法」第 19 条で「校長は、感染症にかかっており、かかっている疑いがあり、またはかかるおそれのある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる」と規定されている。

(問題 27) トータル・ヘルスプロモーション・プランが位置づけられているのはどれか。

- a 老人保健
- b 地域保健
- c 母子保健
- d 産業保健

選択肢考察 答え d

- × a、× b、× c、○ d
- トータル・ヘルスプロモーション・プラン (THP) は「労働安全衛生法」に基づき、「すべての人を対象に心とからだの両面からトータルな健康づくりを目指した運動」である。THP は産業保健に位置づけられている。

(問題 28) 国民が生涯にわたって日常生活において歯科疾患の予防に向けた取り組みを行うことを主な目的とする法律はどれか。

- a 地域保健法
- b 歯科医師法
- c 健康増進法
- d 歯科口腔保健の推進に関する法律

選択肢考察 答え d

- × a、× b、× c、○ d
- 「歯科口腔保健の推進に関する法律」第 6 条に、「国民は、歯科口腔保健に関する正しい知識をもち、生涯にわたって日常生活において自ら歯科疾患の予防に向けた取り組みを行うとともに、定期的に歯科にかかわる検診を受け、必要に応じて歯科保健指導を受けることにより、歯科口腔保健に努めるものとする」と規定されている。

(問題 29) 国民健康・栄養調査を規定しているのはどれか。

- a 食品衛生法
- b 健康増進法
- c 食育基本法
- d 地域保健法

選択肢考察 答え b

- × a、○ b、× c、× d
- 「健康増進法」第 10 条に、「厚生労働大臣は、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料として、国民の身体の状態、栄養摂取量及び生活習慣の状態を明らかにするため、国民健康・栄養調査を行うものとする」と規定されている。

(問題 30) 障害者総合支援法で定められている自立支援医療で誤っているのはどれか。

- a 育成医療
- b 更生医療
- c 養育医療
- d 精神通院医療

選択肢考察 答え c

- a、○ b、○ d 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」(障害者総合支援法) で定められている自立支援医療には、育成医療、更生医療および精神通院医療が含まれる。
- × c 養育医療は「母子保健法」に規定されている。

(問題 31) 不飽和脂肪酸はどれか。2 つ選べ。

- a ラウリン酸
- b リノール酸
- c パルミチン酸
- d ドコサヘキサエン酸

選択肢考察 答え b d

- × a、× c ラウリン酸やパルミチン酸は飽和脂肪酸である。
- b、○ d リノール酸やドコサヘキサエン酸は不飽和脂肪酸である。

(問題 32) 日本人の食事摂取基準において、耐容上限量が設定されていないのはどれか。

- a ビタミン A
- b ビタミン C
- c ビタミン D
- d ビタミン E

選択肢考察 答え b

- a、○ c、○ d 日本人の食事摂取基準において、ビタミン A、ビタミン D およびビタミン E には耐容上限量が設定されている。
- × b 日本人の食事摂取基準において、ビタミン C には推定平均必要量や推奨量は設定されているが、耐容上限量は設定されていない。

(問題 33) 傾聴の姿勢として正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 患者の話にうなづく。
- b 患者の表情に注目する。
- c 患者との会話の前に答えを用意する。
- d 患者の話の途中で自分の意見を言う。

選択肢考察 答え a b

- a 患者の話にうなづきながら耳を傾けることで、患者が話しやすい環境を整える。
- b 患者の表情に注目し、気持ちが現れた言葉に着目する。
- × c 患者との会話の前に答えを用意する必要はない。
- × d 患者の話の途中で自分の意見を言うのは、傾聴の姿勢としては不適切である。

(問題 34) 成人のバイタルサインの異常値はどれか。

- a 脈拍 70 回 / 分
- b 呼吸数 15 回 / 分
- c 拡張期血圧 100mmHg
- d 収縮期血圧 120mmHg

選択肢考察 答え c

- a 脈拍の基準値 (成人) は 60 ~ 80 回 / 分である。
- b 呼吸数の基準値 (成人) は 14 ~ 20 回 / 分である。
- × c 拡張期血圧の基準値 (成人) は 85mmHg 未満である。
- d 収縮期血圧の基準値 (成人) は 130mmHg 未満である。

(問題 35) 尿検査でケトン体陽性になるのはどれか。

- a 血友病
- b 糖尿病
- c B 型肝炎
- d 甲状腺機能低下症

選択肢考察 答え b

- × a、○ b、× c、× d

尿検査でケトン体陽性になるのは、糖尿病、高熱疾患、
癌腫、飢餓などである。

(問題 36) 低温プラズマ滅菌で正しいのはどれか。

- a 環境汚染がある。
- b 使用ガスに毒性がある。
- c 滅菌温度は 70°C である。
- d 器材は滅菌直後に使用できる。

選択肢考察 答え d

- × a 環境汚染はない。環境汚染があるのは EOG (エチレンオキサイドガス) 滅菌である。
- × b 使用ガスに毒性があるのは EOG (エチレンオキサイドガス) 滅菌である。
- × c 滅菌温度は 45°C で、滅菌時間は 75 分である。
- d 滅菌直後に使用できるので、金属・非金属をはじめ、高圧蒸気滅菌できない緊急時に利用する。

(問題 37) 38 歳の女性。上顎左側第一大臼歯の一過性の冷水痛を訴えて来院した。

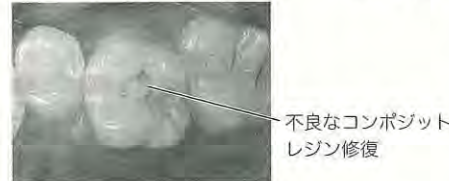
5 年前にコンポジットレジン修復処置を受けたという。隣接面にう蝕はみられず自発痛と打診痛もない。診察の結果、再修復を行うことになった。初診時の口腔内写真 (別冊午後 No.4) を別に示す。

コンポジットレジン修復に必要なのはどれか。2 つ選べ。

- a ウェッジ
- b 光照射器
- c マトリックス
- d シールドガイド

別冊 午後 No.4

選択肢考察 答え b d



- × a ウェッジは隣接面の修復に使用する。
- b コンポジットレジン修復には光照射器が必要である。
- × c マトリックスは隣接面の修復に使用する。
- d シールドガイドはコンポジットレジン修復に必要である。

(問題 38) コンポジットレジンに含まれるフィラーにより向上するのはどれか。2 つ選べ。

- a 摩耗性
- b 重合収縮
- c 機械的強度
- d エックス線造影性

選択肢考察 答え c d

- × a フィラーにより摩耗性は低下する。つまり、耐摩耗性が向上する。
- × b フィラーにより重合収縮は少なくなる。
- c フィラーにより機械的強度が向上する。
- d フィラーによりエックス線造影性が向上する。

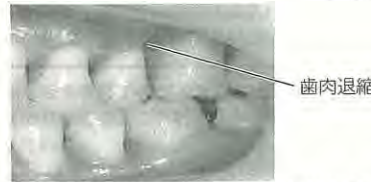
(問題 39) 48 歳の女性。上顎左側臼歯部のブラッシング時の疼痛を訴えて来院した。う蝕は認められなかった。初診時の口腔内写真 (別冊午後 No.5) を別に示す。

原因歯を特定するために行う検査として有効なのはどれか。

- a 打診
- b 透照診
- c 擦過診
- d 歯髄電気診

別冊 午後 No.5

選択肢考察 答え c



- × a ブラッシング時の疼痛の原因歯の特定に打診を用いるとは考えにくい。
- × b ブラッシング時の疼痛の原因歯の特定に透照診を用いるとは考えにくい。
- c 臼歯部に歯肉退縮がみられるため、ブラッシング時の疼痛の原因として根面露出による象牙質知覚過敏症が疑われる。したがって、原因歯の特定には擦過診を行うとよい。
- × d 象牙質知覚過敏症が疑われるため、歯髄電気診を用いるとは考えにくい。

(問題 40) 9 歳の女兒。下顎左側第一大臼歯の痛みを訴えて来院した。軟化象牙質を除去したところ点状の露髄を生じた。露髄部を水酸化カルシウム製剤で被覆し、ガラスイオノマーセメントで仮封した。

この処置により形成が期待されるのはどれか。

- a 象牙粒
- b 象牙質橋
- c 第三象牙質
- d 有細胞セメント質

選択肢考察 答え b

- × a 象牙粒は加齢などが原因で形成される。
- b 象牙質橋はデンチンブリッジともいわれる。点状露髄部を水酸化カルシウム製剤で被覆しており、処置として直接覆髄法を行っているためと判断できるため、象牙質橋の形成が期待される。
- × c 第三象牙質は間接覆髄法などで形成が期待される。
- × d 有細胞セメント質は直接覆髄法で形成されるものではない。

(問題 41) 下顎左側第二小臼歯の根管拡大中に根管をエアシリンジで乾燥させたところ、頬部の腫脹が生じ、触診すると捻髪音を発した。

生じたのは何か。

- a 皮下気腫
- b 薬物アレルギー
- c シーラーの逸出
- d リーマーの破折

選択肢考察 答え a

- a エアシリンジを用いた根管乾燥では皮下気腫を生じやすい。皮下気腫では捻髪音が生じやすいため、皮下気腫と考えられる。

- × b 薬物アレルギーで腫脹や捻髪音が生じるとは考えにくい。
- × c シーラーの逸出でこのような症状は生じない。
- × d リーマーの破折で頬部腫脹は生じない。

(問題 42) 10 歳の男児。歯肉からの出血を訴えて来院した。3 日前から 38°C の発熱があるという。全顎的に歯肉の腫脹と出血がみられた。

疑われる全身疾患はどれか。

- a 肺炎
- b 白血病
- c 心内膜炎
- d ネフローゼ症候群

選択肢考察 答え b

- × a 肺炎で全顎的な歯肉腫脹が生じるとは考えにくい。
- b 白血病では発熱が生じやすく、また、歯肉腫脹や出血が生じやすい。
- × c 心内膜炎で全顎的な歯肉腫脹が生じるとは考えにくい。
- × d ネフローゼ症候群で全顎的な歯肉腫脹が生じるとは考えにくい。

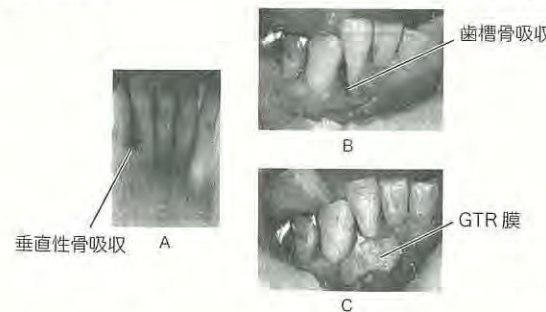
(問題 43) 51 歳の女性。下顎右側前歯の動揺を訴えて来院した。下顎右側側切歯遠心部に深い歯周ポケットを認めた。歯周基本治療後、同部に歯周外科処置を行うことになった。初診時のエックス線写真 (別冊午後 No.6A)、不良肉芽組織除去後の口腔内写真 (別冊午後 No.6B) 及び縫合直前の口腔内写真 (別冊午後 No.6C) を別に示す。

この手術で再生するのはどれか。2 つ選べ。

- a 歯槽骨
- b 象牙質
- c エナメル質
- d セメント質

別冊 午後 No.6A、B

選択肢考察 答え a d



- a、○ d 口腔内写真などから、垂直性骨吸収を伴う深いポケットに対して GTR 法を適用していると判断できる。したがって、この手術で再生するのは歯槽骨やセメント質である。
- × b、× c 象牙質やエナメル質を再生させる歯周外科治療はない。

(問題 44) 55 歳の男性。下顎右側臼歯部の歯肉からの出血を訴えて来院した。1 か月前から自覚していた痛みがないためそのままにしていたという。歯周組織検査の結果、検査器具の先端が舌側まで貫通しているのは確認できた。歯周組織検査時の口腔内写真 (別冊午後 No.7) を別に示す。

貫通部位の清掃に有効なのはどれか。2 つ選べ。

- a 歯間ブラシ
- b 口腔洗浄器
- c ラバーチップ
- d スーパーフロス

別冊 午後 No.7

選択肢考察 答え a d



- a、○ d 口腔内写真から貫通部位は根分岐部であり、その清掃には歯間ブラシやスーパーフロスが有効である。
- × b、× c 貫通した根分岐部の清掃に口腔洗浄器やラバーチップは有効でない。

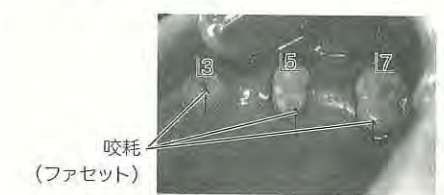
(問題 45) 62 歳の男性。補綴治療前の口腔内写真 (別冊午後 No.8) を別に示す。

矢印が示す所見の原因として考えられるのはどれか。2 つ選べ。

- a 低位咬合
- b 慢性歯周炎
- c ブラキシズム
- d 対合歯の誘導

別冊 午後 No.8

選択肢考察 答え c d



- × a 臼歯部に著しい咬耗 (ファセット) がみられると低位咬合になる。
- × b 慢性歯周炎の増悪因子の 1 つがブラキシズムである。
- c、○ d 矢印が示す所見とは咬耗 (ファセット) である。ブラキシズムがあるとファセットが生じる。また、アンテリアガイダンスのような対合歯を誘導する部位にはファセットが生じる。

(問題 46) アルジネートによる印象採得において、印象材の保持に適するのはどれか。

- a ネットレー
- b 水冷式トレー
- c レジン個歯トレー
- d リムロックトレー

選択肢考察

答え a

- a 網トレーは細い真鍮製ワイヤーで網目状になっており、印象材の保持に適する。
- × b 水冷式トレーは寒天印象材による印象採得において使用する。
- × c レジン個歯トレーはシリコン印象材による印象採得において使用する。保持機構は物理的嵌合および化学的接着によるものである。
- × d リムロックトレーは周縁の内部に土手状の高まりがあり、ここで印象材を保持する。トレーが丈夫で変形しないのが最大の特徴である。

(問題 47) 全部床義歯の仮想咬合平面と平行になるのはどれか。2つ選べ。

- a 口唇線
- b 正中線
- c 鼻聴道線
- d 瞳孔間線

選択肢考察

答え c d

- × a 口唇線には上唇線と下唇線がある。上唇線は上唇を挙上させた時の上唇下線の位置に一致する線である。中切歯歯頸部の位置を示すことになり、上顎前歯の長径を決定する参考になる。下唇線は下唇を下制させた時の下唇下線の位置に一致する線である。下顎前歯の長径を決定する参考になる。
- × b 正中線は咬合採得終了後に咬合堤に記入する正面から見た顔面正中を示す線のことであり、この線上で左右中切歯を隣接させて人工歯排列を行う。
- c 鼻聴道線とは左右側いづれかの鼻翼下縁と耳珠上縁とを結ぶ線である。側面からみて鼻聴道線は有歯顎者の咬合平面とほぼ平行であることから、咬合床に付与する仮想咬合平面の決定に利用される。
- d 瞳孔間線は左右の瞳孔の中心を結ぶ線である。正面から見て瞳孔間線は有歯顎者の咬合平面とほぼ平行であることから、咬合床に付与する仮想咬合平面の決定に利用される。

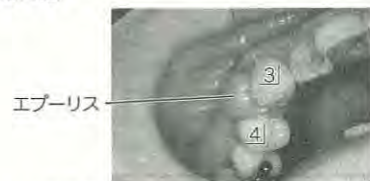
(問題 48) 31歳の男性。「右上の歯が動いてきた」と訴えて来院した。3年前から上顎右側犬歯と第一小臼歯の歯間乳頭歯肉が徐々に腫大してきたという。口腔内写真(別冊午後 No.9)を別に示す。

- 考えられるのはどれか。
- a 内歯瘻
- b エプーリス
- c 薬物性歯肉増殖症
- d 遺伝性歯肉線維腫症

別冊 午後 No.9

選択肢考察

答え b



- × a 内歯瘻とは口腔内に形成された瘻孔のことである。
- b 歯肉の上に限局した腫瘍であることからエプーリスと考えられる。エプーリスとは、「歯肉の上にあるもの」という意味で、歯肉に限局して生じる腫瘍類似疾患である。
- × c 薬物性歯肉増殖症とは薬物(フェニトイン、ニフェジピン、シクロスポリン)の副作用でみられる歯肉の著しい増殖を特徴とする歯肉炎である。写真のように限局して発症することはない。
- × d 遺伝性歯肉線維腫症とは歯列全体に高度に線維化した歯肉増殖がみられる疾患である。

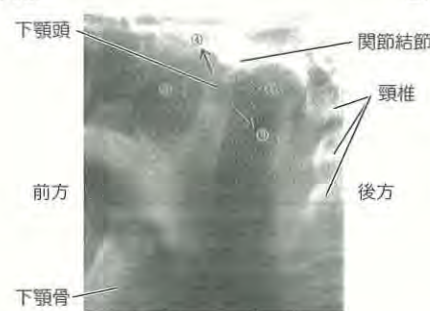
(問題 49) 64歳の女性。口を閉じることができないと訴えて来院した。食事中に突然咬めなくなったという。左側顎関節脱臼と診断され徒手整復を行うことになった。エックス線写真(別冊午後 No.10)を別に示す。

- 下顎頭を誘導する正しい方向はどれか。
- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.10

選択肢考察

答え b



- × a、○ b、× c、× d
- 顎関節脱臼は下顎頭が関節結節を越えて前方にずれた状態である。したがって、下顎大臼歯咬合面に両手の母指を置いて口腔外をほかの4指で下顎体を把持して臼歯部を後下方(②の方向)に押し下げる。

(問題 50) 嚥下機能の賦活を目的とするのはどれか。2つ選べ。

- a 舌負荷訓練
- b 喉頭挙上訓練
- c 義歯床のリライニング
- d ティッシュコンディショニング

選択肢考察

答え a b

- a 舌負荷訓練は舌筋への刺激を目的とする。摂食嚥下障害に対する間接訓練の1つである。
- b 喉頭挙上訓練とはメンデルソン手技のことである。摂食嚥下障害に対する間接訓練の1つである。
- × c 義歯床のリライニング(裏装)は不適合な義歯床内面の改善が目的である。
- × d ティッシュコンディショニング(粘膜調整)は圧痕や潰瘍のみられる顎堤粘膜の改善が目的である。

(問題 51) 局所麻酔の注射後に生じる偶発症はどれか。

- a ワンサン氏症状
- b キューンの貧血帯
- c ニコルスキー現象
- d バトリックの発痛帯

選択肢考察

答え b

- × a ワンサン氏症状とは、急性下顎骨髄炎のときにみられる患側の下唇、オトガイ部の知覚異常である。
- b キューンの貧血帯とは、上顎の伝達麻酔後にみられる不定形の境界明瞭な貧血帯である。30~60分で消失する。さらに貧血帯に一致して皮下出血がみられる場合があるが、1~2週間で消失する。血管の痙攣や血管収縮薬の影響と考えられる。
- × c ニコルスキー現象は天疱瘡や類天疱瘡でみられる。皮膚や粘膜を擦過すると容易に表層が剥離する現象である。
- × d バトリックの発痛帯は三叉神経痛でみられる。口角、鼻唇溝、鼻翼、口唇、歯肉にみられる痛みを誘発する部位のことである。

選択肢考察

- × c ニコルスキー現象は天疱瘡や類天疱瘡でみられる。皮膚や粘膜を擦過すると容易に表層が剥離する現象である。
- × d バトリックの発痛帯は三叉神経痛でみられる。口角、鼻唇溝、鼻翼、口唇、歯肉にみられる痛みを誘発する部位のことである。

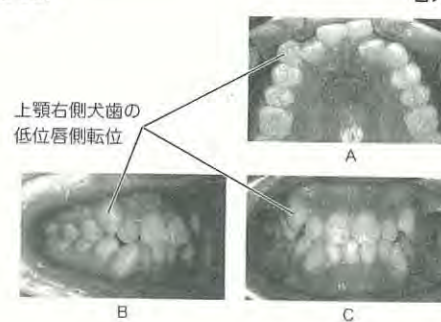
(問題 52) 14歳の女子。歯並びが悪いことを訴えて来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.11A、B、C)を別に示す。

- 上顎右側犬歯の位置異常はどれか。2つ選べ。
- a 低位
- b 遠心傾斜
- c 唇側転位
- d 交叉咬合

別冊 午後 No.11A、B、C

選択肢考察

答え a c



- a、○ c 口腔内写真をみると、上顎右側犬歯は低位で唇側転位を示している。
- × b 上顎右側犬歯は遠心傾斜していない。
- × d 上顎右側犬歯は交叉咬合ではない。

(問題 53) 8歳の女児。前歯の咬み合わせの異常を訴えて来院した。初診時のエックス線写真(別冊午後 No.12)を別に示す。この検査の目的はどれか。2つ選べ。

- a 下顎偏位の検査
- b 乳歯歯根の吸収度の観察
- c 下顎骨の成長方向の判定
- d 上顎中切歯の唇舌的傾斜の評価

別冊 午後 No.12

選択肢考察

答え c d



頭部エックス線規格写真(側方)

- × a 下顎の前後的位置の検査は可能だが、1枚の頭部エックス線規格写真(側方)で下顎偏位は検査できない。
- × b 乳歯歯根の吸収度の観察は頭部エックス線規格写真(側方)による検査の目的ではない。
- c 頭部エックス線規格写真(側方)による検査の目的として、下顎骨の成長方向の判定が挙げられる。
- d 上顎中切歯の唇舌的傾斜の評価は頭部エックス線規格写真(側方)による検査の目的の1つである。

- d 上顎中切歯の唇舌的傾斜の評価は頭部エックス線規格写真(側方)による検査の目的の1つである。

(問題 54) 矯正用器具の写真(別冊午後 No.13)を別に示す。適切な用途はどれか。

- a バンドの撤去
- b トルクの付与
- c 補助弾線の屈曲
- d アーチワイヤーの結紮

別冊 午後 No.13

選択肢考察

答え c



ヤングブライヤー

- × a バンドの撤去はバンドリムービングブライヤーを用いる。
- × b トルクの付与はツイードアーチベンディングブライヤーを用いる。
- c ヤングブライヤーの用途として補助弾線の屈曲がある。
- × d アーチワイヤーの結紮はリガチャーインストルメントなどを用いる。

(問題 55) 生後8か月頃に見られるようになるのはどれか。

- a ハイハイ
- b 首のすわり
- c ひとり歩き
- d ひとり立ち

選択肢考察

答え a

- a ハイハイは生後8~9か月頃に見られるようになる。
- × b 首のすわりは生後3~4か月頃に見られるようになる。
- × c ひとり歩きは生後15か月頃に見られるようになる。
- × d ひとり立ちは生後12か月頃に見られるようになる。

(問題 56) Hellmanの咬合発育段階I A期にみられるのはどれか。

- a 霊長空隙
- b 発育空隙
- c 顎間空隙
- d 鼓形空隙

選択肢考察

答え c

- × a 霊長空隙は乳歯列にみられる空隙である。
- × b 発育空隙は乳歯列にみられる空隙である。
- c I A期は無歯期である。顎間空隙は無歯期の上下顎切歯部歯槽堤間の空隙である。
- × d 鼓形空隙は乳歯列や混合歯列、永久歯列にみられる空隙である。

(問題 57) 手づかみ食べ機能を獲得する時期に萌出するのはどれか。

- a 乳中切歯
- b 乳側切歯
- c 第一乳臼歯
- d 第二乳臼歯

選択肢考察 答え c

× a、× b、○ c、× d
第一乳臼歯萌出開始は 15 か月頃である。手づかみ食べ機能を獲得する時期に萌出するのは第一乳臼歯である。

(問題 58) 5 歳の男児。上顎右側第二乳臼歯の多歯面う蝕に対し、既製乳歯冠修復を行うことにした。既製乳歯冠を試適していたところ、口腔内に落下させた。

- 直ちに行うのはどれか。
- a 上半身を起こす。
 - b 顔を横に向かせる。
 - c ハイムリック法を実施する。
 - d バキュームを口腔内に挿入する。

選択肢考察 答え b

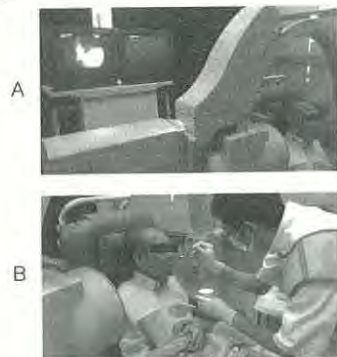
× a 上半身を起こすと、口腔内に落下した乳歯冠を誤飲する可能性がある。
○ b 口腔内に乳歯冠を落下させた場合、まず顔を横に向かせて誤飲を防止してから除去するのがよい。
× c ハイムリック法は気道内異物がある場合に行う。
× d バキュームで吸引して除去することは有効であるが、いきなりバキュームを口腔内に挿入すると乳歯冠を誤飲する可能性がある。

(問題 59) 摂食嚥下機能検査の写真(別冊午後 No.14A、B)を別に示す。

- この検査について正しいのはどれか。2 つ選べ。
- a 唾液の誤嚥が観察できる。
 - b 長時間の検査が可能である。
 - c 口腔、咽頭および食道の機能が評価できる。
 - d 造影性のある検査用模擬食品が必要である。

別冊 午後 No.14A、B

選択肢考察 答え c d



ビデオ嚥下造影法〈VF〉

× a ビデオ嚥下造影法〈VF〉はエックス線造影撮影装置を使用し、造影剤や被検食物にバリウムなどの造影剤を混ぜたものを被検者が食べ、飲み込むところを撮影する検査のため、唾液の誤嚥は観察できない。
× b ビデオ嚥下造影法はエックス線造影撮影装置を使用する

ため、長時間の検査は不可能である。

- c ビデオ嚥下造影法は口腔から食道、胃まで送り込まれる食物の動きがわかるため、その食物を送り込む諸器官(口腔、咽頭および食道)の機能が評価できる。
- d ビデオ嚥下造影法は造影性のある検査用模擬食品が必要である。

(問題 60) 嚥下反射の惹起が遅延している場合に有効な機能訓練はどれか。

- a 構音訓練
- b 冷圧刺激法
- c シャキア訓練
- d プッシング訓練

選択肢考察 答え b

× a 構音訓練は嚥下に関連する器官の機能改善に有効である。
○ b 冷圧刺激法は嚥下反射の惹起が困難な患者に対する嚥下促進訓練の 1 つである。嚥下反射誘発部位を冷刺激と圧刺激を加えることにより、嚥下反射を誘発する。
× c シャキア訓練は頸部の筋力が低下した症例や喉頭が下垂した症例、咽頭収縮力が低下した症例に対して有効である。
× d プッシング訓練は軟口蓋の挙上や声帯の内転を改善させるのに有効である。

(問題 61) 加齢にともない減少あるいは低下するのはどれか。

- a 咬合高径
- b 味覚閾値
- c 第二象牙質の量
- d セメント質の厚さ

選択肢考察 答え a

○ a 加齢に伴い歯を喪失するため、咬合高径は低下する。
× b 加齢に伴い味覚閾値は上昇する(鈍くなる)。
× c 加齢に伴い第二象牙質の量は増加する。
× d 加齢に伴い有細胞セメント質が肥厚することで、解剖学的根尖孔が偏位する。

(問題 62) 唾液分泌量の減少を主症状とする疾患はどれか。

- a 肥満症
- b うつ病
- c パーキンソン病
- d シェーグレン症候群

選択肢考察 答え d

× a 肥満症では唾液分泌量の減少はみられない。
× b うつ病では唾液分泌量の減少はみられない。
× c パーキンソン病では唾液分泌量の減少はみられない。
○ d シェーグレン症候群は自己免疫疾患で、唾液腺の唾液分泌障害や涙腺の涙分泌障害を主症状とする。

(問題 63) 初診患者の口腔内写真(別冊午後 No.15)を別に示す。

- 観察できるのはどれか。2 つ選べ。
- a 歯肉の腫脹
 - b 歯肉の出血
 - c フェストゥーン
 - d スティッピング

別冊 午後 No.15

選択肢考察 答え a b



歯肉の腫脹や出血が認められる

- a、○ b 口腔内写真から歯肉の腫脹や出血が観察できる。
- × c、× d フェストゥーンやスティッピングは観察できない。

(問題 64) エックス線写真(別冊午後 No.16)を別に示す。観察できるのはどれか。2 つ選べ。

- a 歯石沈着
- b 根管充填
- c 隣接面う蝕
- d 歯槽骨吸収

別冊 午後 No.16

選択肢考察 答え a d

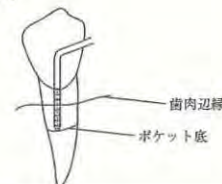


歯石の沈着 歯槽骨吸収

- a 第一大臼歯の遠心根に歯石沈着がみられる。
- × b 根管充填は観察できない。
- × c 隣接面う蝕は観察できない。
- d 第一大臼歯の近心および遠心に歯槽骨吸収がみられる。

(問題 65) ブローピング時の図を示す。ブロープの目盛間隔は 1mm である。

- アタッチメントレベルはどれか。
- a 2mm
 - b 4mm
 - c 6mm
 - d 8mm



歯肉辺縁
ポケット底

選択肢考察 答え d

× a、× b、× c、○ d
アタッチメントレベルはセメントエナメル境からポケット底までの距離であるため、図のアタッチメントレベルはブロープの目盛から 8mm となる。

(問題 66) 歯肉炎の臨床所見で正しいのはどれか。

- a 歯肉退縮
- b 歯槽骨吸収
- c 歯肉ポケット
- d アタッチメントロス

選択肢考察 答え c

× a 歯肉退縮は歯周炎でみられる。
× b 歯槽骨吸収は歯周炎でみられる。

- c 歯肉ポケットは歯肉炎でみられる。
- × d アタッチメントロスは歯周炎でみられる。

(問題 67) 48 歳の女性。乳癌の骨転移治療のため、ビスホスホネート系注射薬を長期間投与中であるという。歯周治療を行うことになった。

- 避けることが望ましい処置はどれか。
- a 咬合調整
 - b 暫間固定
 - c 機械的歯面清掃
 - d 歯肉剥離掻爬術

選択肢考察 答え d

× a、× b、× c、○ d
ビスホスホネート系注射薬を長期間投与中の患者では、外科処置により顎骨壊死を生じる可能性がある。したがって、咬合調整、暫間固定、機械的歯面清掃、歯肉剥離掻爬術のなかでは歯肉剥離掻爬術を避けることが望ましい。

(問題 68) 器具の写真(別冊午後 No.17)を別に示す。矢印で示す幅はどれか。

- a 1mm
- b 2mm
- c 3mm
- d 4mm

別冊 午後 No.17

選択肢考察 答え b



CPI ブロープ

× a、○ b、× c、× d
写真の器具は CPI ブロープであり、矢印で示す幅は 2mm である。

(問題 69) 歯の動揺方向を矢印で図に示す。垂直方向の動きは認められなかった。

- Miller の分類で正しいのはどれか。
- a 0 度
 - b 1 度
 - c 2 度
 - d 3 度



選択肢考察 答え c

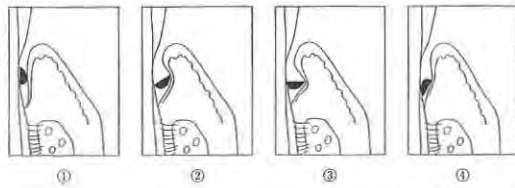
× a 0 度は生理的動揺である。
× b 1 度は頬舌方向へのわずかな動揺である。
○ c 2 度は頬舌方向に中程度動揺し、近遠心方向へわずかに動揺するものである。
× d 3 度は頬舌、近遠心方向に動揺がみられ、さらに垂直方向へも動揺するものである。

(問題 70) □に入る数値で正しいのはどれか。
Lindhe & Nyman の根分岐部病変の水平的分類において 2 度の基準は、骨の吸収が歯冠幅径の □ を超えるが、貫通しないものである。

a 1/4
b 1/3
c 1/2
d 2/3

選択肢考察 **答え b**
× a、○ b、× c、× d
2 度の基準は、骨の吸収が歯冠幅径の 1/3 を超えるが、貫通しないものである。

(問題 71) グレーシータイプキュレット刃部の断面と歯面の位置関係を図に示す。



挿入時の角度で正しいのはどれか。
a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 **答え a**
○ a グレーシータイプキュレットを挿入する時は、刃部を寝かせて挿入するのがよい。したがって、図の①の角度が正しい。
× b ②はキュレット操作時の角度である。
× c ③では刃部が根面に垂直となっている。
× d ④は刃部の向きが逆である。

(問題 72) 口腔内の付着物・沈着物と構成物の組合せで正しいのはどれか。2 つ選べ。

a 舌苔 —— 剥離上皮
b ブラーク —— 口腔細菌
c ペリクル —— 口腔細菌の産生物
d ステイン —— 唾液由来の糖タンパク質

選択肢考察 **答え a b**
○ a 舌苔の構成物には、剥離上皮や細菌などが挙げられる。
○ b ブラークの構成物として口腔細菌が挙げられる。
× c ペリクルは唾液由来のタンパク質や糖タンパク質である。
× d ステインの構成物は外来性の色素である。

(問題 73) シャープニングに用いる潤滑剤の目的はどれか。2 つ選べ。

a 砥石の目づまりを防止する。
b カutting エッジを滑沢にする。
c 研磨後の触覚による確認を容易にする。
d 研磨時の発熱による刃部損傷を防止する。

選択肢考察 **答え a d**
○ a 潤滑剤の目的として、砥石の目づまり防止が挙げられる。
× b Cutting エッジを滑沢にするために潤滑剤を使用するわけではない。
× c 研磨後の触覚による確認を容易にするために潤滑剤を使用するわけではない。

○ d 研磨時の発熱による刃部損傷の防止は潤滑剤の目的の 1 つである。

(問題 74) 24 歳の女性。スクーリング中に、顔面蒼白になり気分が悪いという。徐脈、血圧低下がみられ、吐き気を訴えるが、意識ははっきりしている。
この患者への対応で適切なのはどれか。2 つ選べ。

a 衣服をゆるめる。
b 下肢を挙上する。
c 顔面は上方に向ける。
d 呼吸を再呼吸させる。

選択肢考察 **答え a b**
○ a、○ b 顔面蒼白で徐脈、血圧低下などがみられることから脳貧血を起こしていると考えられる。したがって、衣服をゆるめ、下肢を挙上させるとよい。
× c 吐き気を訴えているため、顔面を上方に向けるのは避けた方がよい。
× d 呼吸を再呼吸させるのは過換気症候群の際に考慮する対応である。

(問題 75) う蝕予防処置と作用機序の組合せで正しいのはどれか。

a PMTC —— 咬合面形態の改善
b 小窩裂溝充填 —— 結晶性の改善
c フッ化物洗口 —— 殺菌作用
d フッ化物歯面塗布 —— 再石灰化の促進

選択肢考察 **答え d**
× a PMTC は歯面の清掃であり、咬合面形態を改善する作用はない。
× b 小窩裂溝充填はう蝕になりやすい小窩裂溝を封鎖するものであり、結晶性を改善する作用はない。
× c フッ化物洗口は歯質を強化するものであり、殺菌作用ではない。
○ d フッ化物歯面塗布は、再石灰化の促進や歯質の強化に役立つ。

(問題 76) 歯垢を検体とするう蝕活動性試験はどれか。

a RD テスト[®]
b ミューカウント[®]
c カリオスタット[®]
d グルコースクリアランステスト

選択肢考察 **答え c**
× a RD テスト[®] は唾液を検体とするう蝕活動性試験である。
× b ミューカウント[®] は唾液を検体とするう蝕活動性試験である。
○ c カリオスタット[®] は歯垢を検体とするう蝕活動性試験である。
× d グルコースクリアランステストは唾液を採取してグルコース消失までの時間を測定するう蝕活動性試験である。

(問題 77) フッ化物歯面塗布法で使用されるフッ素イオン濃度はどれか。

a 225ppm
b 450ppm
c 900ppm
d 9,000ppm

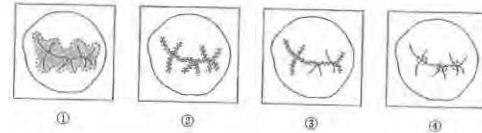
選択肢考察 **答え d**
× a 225ppm はフッ化物洗口に用いる 0.05% フッ化ナトリウム溶液のフッ素イオン濃度である。
× b 450ppm はフッ化物洗口に用いる 0.1% フッ化ナトリウム溶液のフッ素イオン濃度である。
× c 900ppm はフッ化物洗口に用いる 0.2% フッ化ナトリウム溶液のフッ素イオン濃度である。
○ d 9,000ppm はフッ化物歯面塗布法に用いる 2% フッ化ナトリウム溶液や APF 溶液、ゲルのフッ素イオン濃度である。

(問題 78) フッ化物洗口法で正しいのはどれか。2 つ選べ。

a 下を向いた姿勢で行う。
b 対象年齢は 2 歳以降である。
c 成人・高齢者は対象としない。
d 1 回の応用量は 5 ~ 10mL である。

選択肢考察 **答え a d**
○ a フッ化物洗口法では、下を向いた姿勢で全歯面に洗口液が行き渡るように洗口を行う。
× b、× c 対象年齢は 4 歳から成人、高齢者までと適用が広い。
○ d 洗口 1 回分の応用量は 5 ~ 10mL である。

(問題 79) 11 歳の男児。下顎右側第一小臼歯に小窩裂溝充填を行うことになった。充填領域を図に示す。



正しいのはどれか。
a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 **答え b**
× a ①は小窩裂溝からはみ出しており不適切である。
○ b 小窩裂溝を過不足なく充填している②が正しい。
× c、× d ③、④は小窩裂溝を完全に充填しておらず不適切である。

(問題 80) 「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」で示される概念はどれか。

a ソーシャルキャピタル
b ノーマライゼーション
c ヘルスプロモーション
d プライマリーヘルスケア

選択肢考察 **答え c**
× a ソーシャルキャピタルは、社会・地域における人々の信頼関係や結びつきを表す概念である。
× b ノーマライゼーションは、障害者や高齢者がほかの人々と等しく生きる社会・福祉環境の整備、実現を目指す考え方である。
○ c ヘルスプロモーションは、人々が自らの健康をコントロールし、改善できるようにするプロセスである。
× d プライマリーヘルスケアは、すべての人にとって健康を基本的な人権として認め、その達成の過程において住民の主体的な参加や自己決定権を保障する理念である。

(問題 81) Barthel Index の表を示す。

	自立	部分介助	全介助
食事	10	5	0
移乗	15	5~10	0
①	5	0	0
トイレ	10	5	0
入浴	5	0	0
歩行	15	10	0
階段昇降	10	5	0
更衣	10	5	0
便失禁	10	5	0
尿失禁	10	5	0

①はどれか。
a 洗濯
b 買物
c 整容
d 服薬

選択肢考察 **答え c**
× a、× b、× d 洗濯や買物、服薬は手段的日常生活動作 (IADL) に含まれる。
○ c Barthel Index は ADL の評価法で、食事、移乗、整容、トイレ、入浴、歩行、階段昇降、更衣、排便、排尿の 10 項目を自立、部分介助、全介助の 3 段階で評価する尺度である。

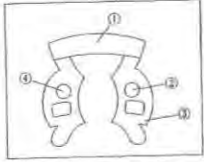
(問題 82) 離乳期に摂食嚥下機能を獲得する段階の特徴的な動きを示す。

- ① 口唇を随意に閉鎖する。
- ② 左右対称に口角を引く。
- ③ 左右非対称に口角を引く。
- ④ 嚥下時に下唇が内転する。

成長に伴い観察される順序はどれか。
a ① → ④ → ② → ③
b ① → ④ → ③ → ②
c ④ → ① → ② → ③
d ④ → ① → ③ → ②

選択肢考察 **答え c**
× a、× b、○ c、× d
離乳初期では嚥下時に下唇が内転し (④)、離乳中期になると口唇を随意に閉鎖する (①) ようになる。左右の口角が同時 (対称) に伸縮する (②) ようになり、離乳後期になると口唇を交互 (非対称) に伸縮できる (③) ようになる。

(問題 93) 下顎第一大臼歯用のクランプの図を示す。
左側に装着する場合、クランプの部位と歯に対する位置の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。



- a ①——遠心
- b ②——頰側
- c ③——舌側
- d ④——近心

選択肢考察 答え a b
○a ①が遠心になるように装着する。
○b ②が頰側になるように装着する。
×c ③が舌側になるように装着する。
×d ④が舌側になるように装着する。

(問題 94) 診療器具の説明で正しいのはどれか。
a マイクロモーターエンジンは空気で回転させる。
b エアタービンハンドピースは水流で回転させる。
c 口腔外バキュームは、切削時のエアロゾルを吸引する。
d スリーウェイシリンジは、吸入、乾燥、噴霧を使い分ける。

選択肢考察 答え c
×a マイクロモーターエンジンは小型電気モーターによる回転動力が利用される。
×b エアタービンハンドピースは圧縮した空気で回転させる。
○c 口腔外バキュームは、切削時や超音波スケーラー使用時のエアロゾルを吸引する。
×d スリーウェイシリンジは、洗浄、乾燥、冷却によってエアの強さを使い分ける。

(問題 95) 印象採得の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。
a 2種類の印象材を使用する方法を連合印象という。
b 静止状態の印象を採得する方法を加圧印象という。
c 金属冠製作の作業模型を得るための方法を概形印象という。
d 生理的機能を営んでいる状態で印象採得する方法を機能印象という。

選択肢考察 答え a d
○a 2種類の印象材を使用する方法を連合印象(1回法、2回法)という。
×b できるだけ圧をかけずに静止状態の印象を採得する方法を無圧印象という。
×c 作業模型を得るための方法を精密印象という。
○d 生理的機能を営んでいる状態で印象採得する方法を機能印象という。加圧印象、辺縁形成、筋圧形成ともいう。

(問題 96) 局所麻酔の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。
a 表面麻酔は薬剤の塗布により知覚を麻痺させる。
b 浸潤麻酔は噴霧により粘膜最表層に浸透させる。
c 伝達麻酔は神経幹の近傍に注射し作用させる。
d 歯根膜内麻酔は急性歯周炎の部位に注射し作用させる。

選択肢考察 答え a c
○a 表面麻酔は粘膜や皮膚の表面に薬剤を塗布することにより知覚を麻痺させる。
×b 噴霧により粘膜最表層に浸透させるのは表面麻酔である。
○c 伝達麻酔は組織深部の神経幹の近傍に注射し作用させる。
×d 歯根膜内麻酔は針先を歯根膜腔内に進めて薬液を注入す

る。一過性の歯根膜炎を起こしやすいので、急性歯周炎の部位に注射するのは禁忌である。

(問題 97) 床やスピットンに散った血液の消毒に6%次亜塩素酸ナトリウム液を希釈して0.5%液を600mL作ることにした。6%次亜塩素酸ナトリウム液は何mL必要か。

選択肢考察 答え b
×a、○b、×c、×d
6%を0.5%にするということは、12倍希釈することである。 $600 \div 12 = 50\text{mL}$
0.5%液を600mL作るには、6%次亜塩素酸ナトリウム液が50mL必要である。

(問題 98) 針付き縫合糸のパッケージの写真(別冊午後 No.20)を別に示す。
下線部の表示の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。



選択肢考察 答え a b
○a ①は糸の太さを示す。
○b ②は針の断面の形態を示す。
×c ③は針の長さを示す。
×d ④は針の彎曲の程度を示す。

(問題 99) 口腔癌の放射線治療による口腔の急性期副作用はどれか。2つ選べ。
a 骨露出
b 粘膜炎
c 味覚障害
d 下顎骨壊死

選択肢考察 答え b c
×a、×d 晩発障害には白血病、骨髄炎、白内障、粘膜の萎縮、口腔乾燥、がん、骨露出、下顎骨壊死などがある。
○b、○c 急性期副作用には、放射線骨髄炎、粘膜炎、味覚障害、口腔乾燥、結膜炎などがある。

(問題 100) 体温の高い順で正しいのはどれか。
a 口腔 > 腋窩 > 直腸
b 腋窩 > 口腔 > 直腸
c 直腸 > 口腔 > 腋窩
d 口腔 > 直腸 > 腋窩

選択肢考察 答え c
×a、×b、○c、×d
体温は腋窩で測定するのが最も一般的である。口腔温は腋窩温よりも0.2~0.3℃高い。直腸温は腋窩温よりも0.5℃高い。したがって、体温の高い順は、直腸>口腔>腋窩である。

(問題 101) 水平位にてスケーリングを行う場合、術者の目と患者の口腔までの距離で適切なのはどれか。
a 10~15cm
b 25~35cm
c 50~60cm
d 70~80cm

選択肢考察 答え b
×a、○b、×c、×d
術者の目と患者の口腔までの距離は25~35cmにする。一方、患者と無影灯との距離は60~80cmにする。

(問題 102) 器具の写真(別冊午後 No.21)を別に示す。
フラップ手術の際に骨膜を剝離する器具はどれか。2つ選べ。



選択肢考察 答え a d
○a、○d ①と④は骨膜剝離子である。
×b ②はエバンスである。技工操作で使用するものである。
×c ③はワックスパチュラである。技工操作で使用するものである。

(問題 103) 85歳の男性。全部床義歯の装着にあたり、義歯床粘膜面の適合試験を行うことになった。
準備するのはどれか。2つ選べ。
a 咬合紙
b シリコン材料
c パラフィンワックス
d プレッシャーインジケータペースト®

選択肢考察 答え b d
×a 咬合紙は咬合関係の診査、調整のために準備する。
○b シリコン材料(ホワイトシリコン)は義歯床粘膜面の適合試験のために用いる。操作性に優れ、厚みの判断がしやすい。辺縁の状態も診査もでき、大まかな適合検査に適する。

×c パラフィンワックスは咬合採得時に準備するものである。
○d プレッシャーインジケータペースト®は義歯床粘膜面の適合試験のために用いる。装着位の変化が少なく、細かな接触も確認できる。

(問題 104) 小児の歯科診療における行動変容法で抑制的対応法はどれか。
a TSD法
b モデリング法
c トークンエコノミー法
d ハンドオーバーマウス法

選択肢考察 答え d
×a TSD法(Tell-show-do法)は、治療に使用する物を説明し(Tell)、見せて(Show)、経験させる(Do)方法である。不安および恐怖の反応を克服させようとする系統脱感作法の1つである。
×b モデリング法は他人(モデル)が示した模範的な行動を観察させて、同じように行動させようとする方法である。
×c トークンエコノミー法は治療後にシールやカードなどのご褒美をあげて、患児を褒めて自信をつけさせていく方法である。
○d ハンドオーバーマウス法(HOM法)とは、小児の口を術者の手で覆い、患児の注意力を集中させ鎮静させる方法である。健常児で不安、恐怖心から泣き騒ぎ、術者の話を聞こうとしない子を対象に行う。抑制的対応法の1つである。

(問題 105) 8歳の女兒。歯科治療中に意識がなくなり、呼吸が停止し、脈の触知ができなくなった。一次救命処置を2人で行うことになった。
胸骨圧迫と人工呼吸の回数はどれか。
a 15回に1回
b 15回に2回
c 30回に1回
d 30回に2回

選択肢考察 答え b
×a、○b、×c、×d
小児のBLSのアルゴリズムによると、一次救命処置を2人で行う場合、胸骨圧迫15回と人工呼吸2回の組み合わせを続ける。一次救命処置を1人で行う場合は、胸骨圧迫30回と人工呼吸2回の組み合わせを続ける。圧迫は強く、速く(約100回/分)、絶え間なく続ける。

(問題 106) 電氣的根管長測定器の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。
a 電気抵抗値を測定する。
b 根管内pHが測定できる。
c 根管長が数字で表示される。
d ファイルを根管内に挿入する。

選択肢考察 答え a d
○a、○d ファイルを根管内に挿入し、電気抵抗値(インピーダンス)を測定することにより根管長を求める。
×b 根管内pHは測定できない。そもそもpHを測定する必要がない。
×c 根管長が数字で表示されるわけではない。

(問題 107) 70歳の男性。義歯製作のためスタディモデルを製作することになった。アルジネート印象を行う予定であるが、患者は嘔吐反射が強いという。

印象採得時の適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 水平位にする。
- b □呼吸を促すように促す。
- c □蓋部に表面麻酔を行う。
- d 印象採得は下顎から行う。

選択肢考察 答え c d

- × a 嘔吐反射が強い場合は、水平位ではなく座位にする。
- × b 嘔吐反射が強い場合は、□呼吸ではなく鼻呼吸を促すように促す。
- c □蓋部に表面麻酔を行い、嘔吐反射を防止する。
- d 印象採得は嘔吐反射の少ない下顎から行う。

(問題 108) 85歳の男性。3年前に脳梗塞を起こし、後遺症として軽い左片麻痺がある。食事は楽しみにしており自分で食べるが、ペースが速い。一口量も多く、食事中にむせることがよくある。

誤嚥を防ぐ対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 食形態はきざみ食にする。
- b 液体にはとろみをつける。
- c スプーンは小さいものを用いる。
- d 顎を上げて嚥下するように姿勢を整える。

選択肢考察 答え b c

- × a 誤嚥予防の食形態はきざみ食ではなく、ゼラチン食にする。
- b 液体には片栗粉を用いてとろみをつける。
- c 一口量が多くならないように、スプーンは小さいものを用いる。
- × d 顎を上げて嚥下すると誤嚥を招きやすい。

(問題 109) 矯正治療時の口腔内写真(別冊午後 No.22)を別に示す。

この操作の目的はどれか。

- a バンドの撤去
- b ブラケットの接着
- c アーチワイヤーの屈曲
- d チューブの装着位置の決定

別冊 午後 No.22

選択肢考察 答え d



- × a バンドの撤去にはバンドリムービングプライヤーを用いる。
- × b ブラケットを歯面に接着する際にはピンセットを用いる。
- × c アーチワイヤーの屈曲にはツイードアーチベンディングプライヤーやバードピックプライヤーなどを用いる。
- d 写真はブラケットポジショニングゲージである。用途はブラケットやチューブの装着位置の決定である。

(問題 110) 70歳の男性。車椅子で来院した。院内を移動中の写真(別冊午後 No.23)を別に示す。

このとき介助者が右足で行っている操作はどれか。

- a 前輪を浮かせる。
- b 背もたれを起こす。
- c ブレーキをかける。
- d フットレストを下げる。

別冊 午後 No.23

選択肢考察 答え a



- a、× b、× c、× d
- 介助者が右足で行っている操作は、ステッピングバーを踏んでいるところである。ステッピングバーを踏むことにより、前輪を浮かせる。同時に手でハンドルを押し下げる。おろすときはステッピングバーを踏みながら静かにおろす。